

採用に関するお問い合わせ
総務省大臣官房秘書課

〒100-8926 東京都千代田区霞が関2-1-2
中央合同庁舎第2号館7階

Tel. (代表)03-5253-5111
(直通)03-5253-5073・5074・5075

http://www.soumu.go.jp/menu_syokai/saiyou/index.html



先輩からのメッセージ

平成29年度一般職採用案内

Message from Senior

総務省

Ministry of Internal Affairs and Communications

CONTENTS

○先輩からのメッセージ(地方自治行政)

- p03 様々な出会いと経験を地方自治の施策に生かす… 手塚 聡
- p04 生きた制度を創るということ …… 清水 慶子
- p05 誰のための地方自治なのか …… 岡本 理恵
- p06 豊かな暮らしを目指して …… 前川 雄一郎
- p07 防災と向き合っ …… 石井 照寿
- p08 地域の力で日本の未来を創造する。 …… 泉水 克規

○先輩からのメッセージ(放送・情報通信・郵政行政)

- p09 ICTを通じて日本・世界と関わる …… 飯島 要介
- p10 情報通信の、その先へ …… 松岡 遼太郎
- p11 10年後、想像できますか? …… 興石 美和
- p12 ネットとトラブルのないお付き合いを! …… 酒井 陽子
- p13 暮らしを支える移動通信システム …… 黒川 理雄
- p14 世界を俯瞰した業務 …… 青木 勇司

○先輩からのメッセージ(行政制度の管理運営)

- p15 好奇心旺盛なあなたをお待ちしています …… 當山 祥子
- p16 国民のための行政の推進 …… 中村 隆一
- p17 みんなで大きなものを作り上げる …… 岩本 明子
- p18 合理的な意思決定のために …… 矢野 広典
- p19 総務省だからこそできること …… 武井 大
- p20 国民生活の基盤を支える …… 堀田 靖子

p21～p24 新規採用職員からのメッセージ



○先輩からのメッセージ(地方支分部局)

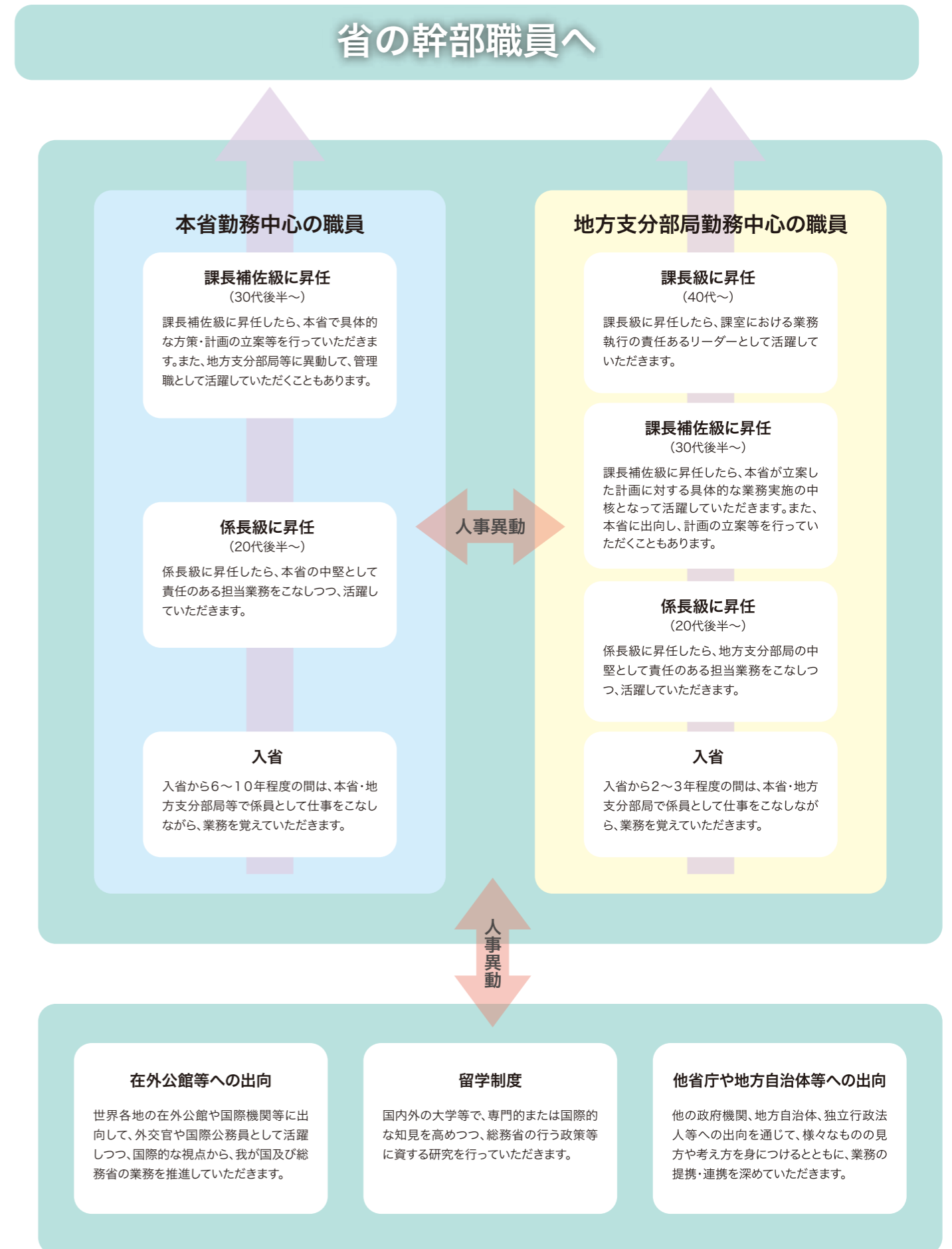
- p25 行政のレベル・アップを求めて …… 龍宮 克宏
- p26 国民の声を行政に届ける …… 長嶺 忍
- p27 地域に出て初めてわかること …… 道祖土 直美
- p28 時間と距離を超越する通信の未来 …… 水本 涼子
- p29～p30 若手職員の1日 …… 菅谷 隆司
池田 千華
岡崎 未佳

○先輩からのメッセージ(地方自治体・海外・出向・留学)

- p31 国家公務員という生き方 …… 北川 幸枝
- p32 内閣総務官室というところ …… 永岡 大介
- p33 だからこれから地方が面白い! …… 小鍋 泰弘
- p34 国と地方を経験できるということ …… 佐藤 弘康
- p35 地方自治の現場から! …… 伊藤 大智
- p36 地方を思い国を思う …… 田川 陽子
- p37 アルプスの国からこんにちは …… 田代 広宣
- p38 太陽の国メキシコにて思うこと …… 酒井 孝祐

- p39 ワーク・ライフ・バランス
- p40 Q&A
- p41～p42 総務省の組織
連絡先

総務省入省後のキャリアステップの一例



これはあくまで目安です。本人の勤務成績や希望等により変わります。

様々な出会いと 経験を地方自治の 施策に生かす



自治行政局行政課行政第四係長

手塚 聡 TEZUKA Satoru

平成21年 4月 総務省採用
自治財政局財政課総務室
平成22年 1月 自治行政局選挙部政治資金課収支公開室
平成23年 4月 自治税務局固定資産税課
10月 大分県総務部市町村振興課
平成25年 10月 地方公務員災害補償基金補償課
平成27年 10月 現職

『地方公共団体における地方議会の役割とは』

皆さんは、「地方議会」と聞いて何を思い浮かべますか？皆さんの住む自治体には地方議会議員が何名いて、どんな活動を行っているかご存知でしょうか？地方議会は、地方公共団体の意思決定機能と執行機関の監視機能を有しており、住民の選挙で選ばれた首長と議員（議会）とが、互いにけん制し合うことで地方公共団体の適切な運営を図っています。

行政課では、各議会が地域の実情に応じて、より適切な運営を図ることができるよう、地方議会制度の整備のための企画・立案、全国の議員や事務局職員を対象とした、地方議会を巡る課題解決のためのシンポジウムの開催、各議会の運営に関する様々な実態調査などを行っています。

近年は、投票率の低下や無投票当選の割合の増加に見られるように、地方議会に対する関心の低下や議員のなり手不足が深刻化しており、こうした状況を少しでも改善していくため、地方公共団体や関係団体と連携し、日々業務に取り組んでいます。

『全国つながりや地方経験を糧に』

地方自治制度を考える上で、地方の実態を把握することは必要不可欠です。総務省では、若手のうちから地方公共団体に出向し、現場で勤務する機会が与えられています。私は大分県庁で2年間、市町村財政担当に従事しましたが、特に、平成24年7月の九州北部豪雨では、多くの自治体が被害を受け、早急な対応が求められる中、災害復旧のための支援を行い、県庁と市町村が一丸となって復旧・復興に取り組めたことは、大きな財産となっています。大分県でお世話になった方々とは今でも連絡を取り合い、東京出張の際は飲みに行ったり、一緒に各地を旅行したりと、交流が続いています。

また、現在の職場でも全国各地の都道府県や市町村から出向している方々と机を並べ、一緒に仕事をしています。こうした様々な人と交流を深め、全国につながりを増やしていくこと、また、地方での経験を踏まえ、地方自治の制度づくりに生かすことができることが総務省の魅力だと思います。



Private Time

学生時代から10年以上バスケットボールを続けており、今は社会人サークルに所属し、練習に励んでいます。練習後のバスケット仲間と飲むビールは格別です！50歳まで現役でプレーすることが今の目標です。また、長期休暇を利用して、妻と温泉旅行や海外旅行に行き、各地の美味しい食べ物やお酒を堪能することで、日頃の疲れを癒やしています。

生きた制度を 創るということ



自治行政局選挙部管理課

清水 慶子 SHIMIZU Keiko

平成23年 4月 総務省採用
大臣官房秘書課
平成24年 4月 自治行政局公務員部公務員課給与能率推進室
平成25年 4月 島根県地域振興部地域政策課
平成26年 4月 島根県地域振興部市町村課
平成27年 4月 現職

Some One Week

Monday

ある選挙区で補欠選挙を行うことが決定。予算確保のため、すぐに必要経費を計算します。

Tuesday

財務省へ予算要求説明。細かい点まで質問を受けますが、粘り強く対応します。

Wednesday

県から補欠選挙の相談。過去の事例を調べ、現在でも通用するのか検討し、回答します。

Thursday

候補者の選挙運動用葉書の取扱いを事業者と打ち合わせ。ミスがないよう万全を期します。

Friday

財務省から予算の承認が下りました。今日は予算担当で打ち上げに出かけます！



Private Time

休日は、様々な体験教室やイベントに行くのがマイブームです。最近では陶芸や江戸切子作りに挑戦しました。また、出向していた島根県には今でも定期的に遊びに行っており、レガッタ大会への参加や、海水からの塩作り体験、トビウオを捌いてあご野焼き作り体験等、東京ではできない珍しい体験ができるので新鮮です！



Some One Week

Monday

とある自治体の議会事務局に問合せ。いつも議会運営の実態について教えていただいています。

Tuesday

議員事務所から法解釈について説明要求。上司と議員会館まで説明に行きます。

Wednesday

週末に開催予定の会議に向けて、上司と報告内容や配布資料の調整を行います。

Thursday

会議のメンバーである大学教授の先生との打合せのため、大学キャンパスへ外出します。



Friday

無事に会議終了。会議内容をまとめ、一段落。定時後は職場の同僚と飲みに行きます。



誰のための 地方自治なのか

自治財政局財務調査課助成係長

岡本 理恵 OKAMOTO Rie

平成17年 10月 総務省採用
自治行政局選挙部選挙課
平成19年 4月 北海道企画振興部地域振興・計画局市町村課
平成21年 4月 消防庁総務課
平成23年 4月 自治税務局市町村税課
10月 自治税務局市町村税課諸税係長
平成25年 4月 自治財政局財務調査課財政健全化係長
平成28年 4月 現職

Some One Week

Monday

今週の日程・業務の打合せ。課内で情報を共有し、効率的に業務を進めます。

Tuesday

過疎市町村からの要望に対応。現場の状況を把握することは重要です。

Wednesday

明日の過疎対策関係の会議に備えて資料を準備し、上司と打合せを行います。

Thursday

政党の会議に課長と出席。意見交換に対応できるよう資料を持って随行します。

Friday

国会議員より過疎対策事業債の資料要求。資料を送付し、電話でご説明します。



Private Time

愛猫と遊んだり、近くのジムで軽く体を動かしたり、のんびり過ごす日もあれば、同僚や仲間たちと BBQ などをしたり、旅行に出かけたりするのも楽しみです。お休みは自由に過ごすことで、心と体をリフレッシュし、メリハリをつけていきます。



豊かな暮らしを 目指して

自治税務局市町村税課

前川 雄一郎 MAEKAWA Yuichiro

平成25年 4月 総務省採用
自治財政局財政課総務室
平成26年 4月 自治財政局公営企業課
10月 宮崎県総務部市町村課
平成28年 10月 現職

Some One Week

Monday

局内の週間日程を確認。上司と業務のスケジュールを相談します。



Tuesday

地方税に関するマイナンバーの制度を、上司とともに国会議員に説明。

Wednesday

翌日の国会質問の準備。地方税の手続に関するものです。

Thursday

地方税とマイナンバーの制度について、関係団体から要望。現場の声は重要です。

Friday

一週間の業務の進捗状況を係内で共有。優先すべき課題を確認します。

『私たちの暮らしと地方税』

私たちが生活をしていく中で、教育、福祉、消防などの行政サービスは欠かせない存在であり、日本中どこに住んでいてもこの行政サービスを受けることができるように支えているのが税です。私が所属する市町村税課は、この税の中でも個人住民税などの市町村税について企画・立案を行っており、たとえば個人住民税では昨年度の納税義務者が約6,150万人と推計されていることから、非常に多くの国民生活に密接に関わる制度を担っています。

私たち市町村税課は、税という制度の中で、国民一人ひとりの負担が公平・公正なものであるよう、関係省庁や都道府県、市区町村をはじめ様々な立場の人と議論を交わしながら、より良い政策を実現するために日々奮闘しています。

「マイナンバー」や「ふるさと納税」など、ニュースや新聞でよく目にするような、社会から注目を浴びている仕事を担当できる職場でもあり、とても刺激的な毎日をご過ごしています。

『総務省の仕事』

このパンフレットを手にとった皆様は、少なからず地方自治に関心があるのではないのでしょうか。ひとくちに地方自治と言っても様々な側面があります。例えば、私は平成25年度に入省してから、この4年間で、財政部局の国会関係業務、公営企業の経営に関する業務、宮崎県への出向、そして、現在担当している市町村税に関する業務など、多岐にわたる業務に携わってきました。

総務省では、このように幅広い分野で多くのことを学べるとともに、それぞれの職員が担当する業務を通じ、より良い地方行政の実現というひとつの目標に向かって大きな一体感を持ちながら仕事ができることを実感できますし、それが総務省の魅力だと感じています。

総務省には、まだまだ文章だけでは伝えきれない魅力がありますので、一度職員の話聞いてみませんか。皆様とお会いできることを楽しみにしています。

Private Time

休日は、宮崎県に赴任している際に目覚めたアウトドアで自然を楽しんだり、読書や映画でゆっくり過ごしたり、バランスよく過ごすようにしています。もちろん、大学時代の友人や同僚と飲みに行くのも楽しみのひとつです。仕事のことは一旦忘れ、思い出話に花を咲かせて身も心もリフレッシュしています。



防災と向き合って

消防庁国民保護・防災部防災課

石井 照寿 ISHII Terutoshi

平成28年 4月 総務省採用
現職

Some One Week

Monday

地方公共団体の災害ボランティア担当者を集めて研修会を開催。

Tuesday

子ども向け防災教材の改訂に向けて資料を集め、改訂案を作成。



Wednesday

地方公共団体に対する調査結果を精査。疑問があれば担当者に電話をして確認します。

Thursday

地方公共団体からの問い合わせに対応。関係省庁に法令との整合性を確認します。

Friday

都内で開催される防災イベントに出展するため会場準備。

『災害による被害を減らすために』

私は今、消防庁の防災課と地域防災室に配属され、地域住民の自主的な防災活動から、地方公共団体、国の防災体制まで幅広いレベルの防災に関わる業務を行っています。

住民の安全を守るためには、災害の現場で対策を講じる地方公共団体の役割が非常に重要で、地方公共団体の実態を把握する必要があります。私の主な業務は、統計調査の数値をとりまとめたり、地方公共団体の担当者に聞き取りをして事例の収集を行ったり、地方公共団体の担当者からの窓口として問い合わせ等の対応を行っています。

また、一年目という立場ではありますが、地方公共団体の災害ボランティアの担当者を集めた研修会を企画したり、子ども向け防災教材の改訂を行ったりと自らが中心となって進める業務もあります。そして、いざ、大きな災害が発生した際には、緊迫した空気の中、消防庁危機管理センターにおいて、消防庁全職員をあげて災害対応にあたります。

『総務省に入省して』

総務省に入省して縁あって消防庁に配属となりました。配属された4月初旬は消防や防災に関する知識もほとんどない状態でしたが、自分で勉強しながらも、上司や同僚といった周囲の方々に支えられながら仕事をしてきました。入省して二週間後の熊本地震発生時には消防庁での災害対応のみならず、途中で内閣府へ連絡要員として派遣されたり、8月には東日本大震災の被災地に出張に行ったりと消防庁ならではの業務もありました。

また、消防庁には全国の都道府県・市町村や消防本部から数多くの職員の方々が出向されています。その方々の地方の話聞き、日本についてまだまだ知らないことが多くあるのだと新鮮さを感じる毎日です。このような全国規模のつながりができることは総務省の大きな魅力です。ぜひ、総務省で働いてみませんか？



Private Time

休みの日には学生時代の友人と会ったり、旅行に行ったりと外出することが多いです。名古屋や関西まで遠出をしたり、関東近郊にも出かけたりします。夏にはタイのバンコクに行って、異文化に触れ、観光にグルメにと夏休暇を楽しみました。その土地のおいしいものを食べて気分転換をしています。



地域の力で日本の未来を創造する。

地域力創造グループ地域政策課理事官

泉水 克規 SENSUI Katsunori

○係員時代 〈地域づくりの支援から地域づくりの現場へ〉

最初の仕事は、ふるさと創生で盛り上がった個性あふれるまちづくりや地域づくりの支援でした。それぞれの地域で、将来のために真剣に取り組む皆さんのため、自分がどう関わり、どう貢献できるのかを考え続ける毎日でした。地方行財政の重要施策のとりまとめにも関わり、地方自治行政を通じて日本全体の動きを学びました。その後、鹿児島県に赴任し、制度や施策がどのように地域の現場で活用されるのか、体感しました。

○係長時代 〈地方自治の視点で行政の仕組みを変革〉

係長時代は、地方分権改革に取り組みました。国と地方を上下・主従の関係から対等・協力の関係へ移行させ、中央省庁主導の縦割りの画一的行政システムから住民主導の个性的で総合的な行政システムに転換するため、「地方分権一括法」が制定されました。各省庁や政党との調整、法律の立案作業、国会審議の対応など、プレッシャーもありましたが、まさに行政の仕組みの大変革に携わったことで、大きく成長できたと思います。

○今、そしてこれから 〈地域の魅力や資源を磨き、日本の活力に！〉

我が国は人口減少社会に入りました。そうした中であっても、地域の皆さんが、安心して暮らしていけるよう、地域の実情に合わせて、活力を持ち、持続可能な地域社会を創っていく必要があります。地域の魅力や資源を活かした仕事づくりを支援したり、地域への「ヒト・情報」の流れを創出する事業を展開することによって、地域力を高め、そのことで日本全体が活力に満ちていくことを目指して日々奮闘しています。

MESSAGE

行政の仕事をするには、何よりも、より良い社会を創っていききたいという強い思いが必要です。未来を創っていく仕事は、自分のフィールドも大きく広がる魅力にあふれていますので、是非チャレンジしてください。

Profile

平成 4年 4月 自治省採用
大臣官房企画室
平成 6年 4月 鹿児島県総務部地方課
平成 8年 4月 行政局行政課
平成10年 4月 行政局行政課行政第三係長
平成13年 1月 総務省自治行政局行政課行政第三係長
平成14年 4月 自治行政局行政課行政第二係長
平成15年 4月 新居浜市企画部長
平成18年 4月 自治大学校庶務課主幹
平成20年 4月 自治行政局行政課主幹
併任 自治行政局行政課総務室課長補佐
平成22年 4月 岡山県消防保安課長
平成23年 4月 岡山県総合政策局地方分権推進課長
平成25年 4月 自治行政局行政課監査制度専門官
併任 自治行政局行政課課長補佐
平成28年 4月 地域力創造グループ地域政策課課長補佐
平成28年10月 現職



説明を受けている様子

Career Interview



ICTを通じて 日本・世界と関わる

情報通信国際戦略局国際政策課主査

飯島 要介 IIJIMA Yousuke

平成16年 4月 総務省採用
情報通信政策局総務課
平成17年 4月 総合通信基盤局電気通信事業部料金サービス課
平成19年 7月 総合通信基盤局電気通信事業部事業政策課
平成21年 4月 人事院行政官国内研究員(一橋大学大学院)
平成23年 4月 総合通信基盤局電波部移動通信課主査
平成25年 5月 外務省在バーレーン日本国大使館二等書記官
平成28年 6月 現職

Some One Week

Monday

ICT海外展開PR映像制作に関する請負事業者との打合せ。

Tuesday

ICT海外展開予算に関する財務省との折衝に臨む。

Wednesday

定時退庁。大使館勤務時代の同僚と旧交を温める。



Thursday

内閣官房主催のインフラシステム輸出に関する各省連絡会議に出席。

Friday

省内幹部会議で使うICT海外展開に関する資料を取りまとめ。

『質の高いICTで日本も世界も豊かに』

世界のインフラ需要は発展途上国を中心に膨大になっています。少子高齢・人口減少社会に直面する日本において、この需要を官民一体でインフラシステム輸出によって日本経済に取り込んでいくことが日本政府の役割の一つとなっております。ICTを含め、日本のインフラの強みは、一見値段が高く見えるも、使いやすく、長持ちし、環境にも優しく、災害の備えにもなるため、長期的に見れば安上がり、という「質の高さ」にあり、輸出先の国の発展に寄与することもできます。

ICTを担当する総務省においてもこれに貢献するべく、質の高いICTインフラやインフラの質を高めるICTシステムの海外展開を行う日本企業に対する支援を省幹部によるトップセールス、官民ミッション・展示会・招へい研修の実施、現地での実証実験の実施などの形で行っております。私はインフラシステム輸出に関わる政府機関との調整や総務省が行う海外展開支援に関する政策づくりに携わっております。

『変化を楽しめるなら情報通信行政へ』

私は主に情報通信行政に関わってきましたが、前例踏襲・ルール遵守といったいわゆる「お役所仕事」を期待している方には向いておりません。情報通信分野は技術・市場が絶えず変化する領域であり、法令・制度・政策もこの変化に応じて柔軟に対応していく必要があるからです。状況の変化を楽しむことができ、失敗を恐れず積極的に提言できる人には是非門を叩いて欲しいと思います。

また、国内外への留学、総合通信局・地方公共団体への出向、在外公館等海外機関への出向等幅広い経験の機会も用意されております。私自身、国内留学・大使館出向の経験は己の視野を広げ、人脈の幅を広げる良い機会になりました。

総務省の所掌分野は全省庁の中でも極めて多彩な部類に入り、それぞれの部局によって職場の雰囲気や仕事の面白さなどは異なってきます。総務省の業務に少しでも関心があれば是非業務説明会に足を運び、色んな部局の方のお話を聞くことをお勧めします。



Private Time

週末は専ら家族団楽の機会を楽しんでおります。息子はまだ小さいので、近所の公園で一緒に遊んだり、自宅で絵本を読み聞かせたりしております。平日朝出勤しようとする息子が物悲しげにこちらを見てくるので、テレワークを活用するなどして、家族との触れ合いの時間をもっと増やせるようにできればな、と思っております。



情報通信の、その先へ

情報流通行政局情報流通振興課主査

松岡 遼太郎 MATSUOKA Ryotaro

平成21年10月 総務省採用
情報流通行政局郵政行政企画課
平成22年 7月 情報通信国際戦略局情報通信政策課
平成24年 8月 総合通信基盤局電気通信事業部事業政策課
平成26年 8月 大臣官房秘書課
平成28年 7月 現職

Some One Week

Monday

課内意識合わせのための打合せで一週間が始まる。

Tuesday

金曜作業の進捗が思わしくない。あらかじめ発注元に最終期限を確認しておかなければ。

Wednesday

明日の国会で情報利活用の分野が問われるとの報。答弁作成の調整業務に東奔西走…

Thursday

会議の報告書案を上司にあげたところ、修正意見をたくさんいただく。勉強になります。

Friday

火曜の読み通り、担当者の作業が終わらず。先手の対応が役に立った!



『情報通信の「営業職」』

情報通信の分野では、情報の流れを階層立てて「レイヤ」と呼びます。例えば物理的な電線や電波の「物理層」や、通信の行き先を決めるルールの層である「ネットワーク層」などです。現在私は、この中で上位レイヤと呼ばれる「情報の利活用」、つまり情報通信を使って何をするのか、「その先」を考える部署である、情報流通振興課で、総括ラインという仕事をしています。

総括ラインの業務内容は、作業を担当者に割り振ったり、進捗を管理したり、他部署組織との調整、作業結果をとりまとめたり、いわば交通整理役です。民間企業ではあまり聞かない部署ですが、外から案件を取ってきて事業部に業務をお願いし、成果を外に返してフォローする、いわば営業職のようなものだと考えるとわかりやすいかもしれません。

日々大量に押し寄せる案件を、どうさばき、担当者にうまく処理してもらうか。パズルのような毎日は大変ですが、しかし、やりがいのある仕事です。

『最先端を、全力で』

昔、テレビコマーシャルに「♪小さなことから大きなことまで…」という歌がありましたが、総務省の仕事はまさに幅広です。IoTやAI、ビッグデータで第四次産業革命、などという世界レベルの壮大な話から、地域情報化で地方創生という地方レベルの話、はたまた働き方改革にICTを活用してワークライフバランスを実現する個人的な話まで、どんなジャンルでも分野の最先端の仕事を経験できます。

幅広い分野の仕事はまた、様々な知識や経験が生きる仕事でもあります。私は法科大学院を卒業してから入省しましたが、法律を勉強していて良かったと思った事は数えきれません。また、文系の事務官であっても、情報通信など、技術的な知識が求められることは多々あります。知識を常にアップデートし、これまでの経験を整理し、思考力をフル活用して、最後は度胸を持って業務に当たる、自分の持つ力を総動員する仕事を任せてもらえるのは、総務省の魅力の一つだと思います。



Private Time

旅行が好きなので、夏休みは長めに取り、サハラ砂漠やオーロラ観測など、海外を周遊しています。週末も、時間を見つけてはちょこちょこ遠出して、温泉や自転車、果てはダム巡りなどを楽しんでいます。

10年後、 想像できますか？



情報流通行政局放送政策課国際係長

輿石 美和 KOSHIISHI Miwa

平成13年 4月 総務省採用
総合通信基盤局総務課
平成13年 7月 総合通信基盤局国際部国際政策課国際機関室
平成15年 8月 大臣官房政策評価広報課
平成17年 8月 統計局統計調査部経済統計課事業所・企業統計室
平成18年 4月 統計局統計調査部経済基本構造統計課
平成19年 4月 総合通信基盤局総務課(育児休業)
平成24年 6月 情報通信国際戦略局情報通信政策課管理室
平成25年 1月 情報通信国際戦略局情報通信政策課管理室主任
平成25年 7月 情報通信国際戦略局情報通信政策課管理室調整係長
平成26年 8月 電気通信紛争処理委員会事務局調査専門官
平成28年 7月 現職

Some One Week

Monday

金曜日に予定している有識者会議で使用資料の仕上げ、グラフなどを使用し、わかりやすく視覚に訴える資料になるよう工夫します。

Tuesday

議員から要求があった諸外国の放送制度についての資料を上司と相談しながら作成。

Wednesday

諸外国のテレビ視聴率について有識者の方と打ち合わせ。大変勉強になります。



Thursday

米国で新しい放送関連サービスが開始されたとの報道を受け、詳細を調べます。

Friday

放送に関する有識者会議を開催。真剣な議論が繰り広げられました。

『より便利で信頼できる主要なメディアとしての放送』

放送は、素早く信頼できる情報を国民視聴者に安定的に提供するメディアの一つとして、これまで中心的な役割を担ってきました。現在、インターネット上での動画配信サービスといった視聴環境の変化によりテレビ離れが進んでいると言われていています。総務省では、これからもより便利で信頼できるサービスを受けられる主要なメディアとしての役割を「放送」が担っていけるよう、様々な課題に取り組んでおり、その中で現在、私は諸外国の放送制度等の調査・分析を行っています。

例えば、英米等では、テレビ放送はインターネットでも同時に配信され、スマホなど様々なデバイスでも放送と同時にテレビ番組を視聴できる環境を整備しています。社会・経済・文化的な背景の違いにより様々な事情があり、単純に外国の事例を日本に当てはめることはできませんが、少しでも課題解決の一助になればとの思いで日々の業務に取り組んでいます。

『10年後、あなたはどんななってたいですか』

これは、私が総務省(当時郵政省)を官庁訪問した時に面接官だった先輩職員から聞かれ、とても印象に残った質問です。当時の私は「仕事も家庭も育児もこなせるようになっていきたい」と答えました。そう答えたものの、入省当時は本当に実現できるのだろうか、と漠然とした思いを持っていましたが、十数年経った今では制度が充実し、「ワーク・ライフバランス」の考え方も浸透して、総務省にはたくさんのママさん職員が活躍しています。また、数年後はこんな風になりたいと思えるようなロールモデルとなる先輩もたくさんいます。

私には現在9歳と7歳の娘がいます。決して胸を張って「すべてこなしている」と言える自信はありませんが、家族や職場の上司、同僚の理解と協力のおかげで楽しく充実した日々を送ることができています。

皆さんは『10年後』、ご自身のどんな姿を想像されますか？



Private Time

平日あまり一緒にいられない分、休日はなるべく子供たちの好きなことを優先して家族で過ごすようにしています。山登りやアスレチックなど、体を動かすことが多いです。この日は動物好きの二女のクエストに応え、犬の散歩が体験できるテーマパークへ。子供たちのためとは言いつつ、私自身のリフレッシュにもなっています。

ネットとトラブルのない お付き合いを！



総合通信基盤局電気通信事業部
消費者行政第一課企画係長

酒井 陽子 SAKAI Yoko

平成22年 4月 総務省採用
情報流通行政局衛星・地域放送課
平成24年 4月 情報通信国際戦略局情報通信政策課
平成27年 8月 総合通信基盤局電気通信事業部事業政策課
平成28年 7月 現職

Some One Week

Monday

事業者に消費者保護ルールの実施状況について報告書を提出してもらいます。契約書サンプルやパンフレットももらいます。

Tuesday

事業者の報告書をじっくりチェック。書類だけでは分からない事項などは、まとめておきます。

Wednesday

昨日まとめた不明事項を中心に、事業者のヒアリングを実施。ここぞとばかりにガツガツ聞きますよ～！



Thursday

ヒアリングの結果を忘れないうちにメモしておきます。問題点があれば、上司に相談です。

Friday

最終的には、会議で事業者からの報告結果を説明します。そのための資料作りを行います。

『生活に欠かせない存在だからこそ…』

インターネットや携帯電話などの電気通信サービスは、今や私たちの生活に欠かせない存在です。皆さんにとっても、スマホは必須アイテムではないでしょうか？一方で、これらのサービスの内容や契約が、高度化・多様化・複雑化しているのも現状です。そのため、“ネットの強引な勧誘を受け、内容を理解しないまま不要な契約をしてしまった”や“スマホの割引条件を認識しておらず、解約時に違約金が発生した”といったトラブルに関する相談が、総務省や消費生活センターに沢山寄せられています。せっかく便利なサービスなのに、残念なことです。

私の所属する消費者行政第一課は、そんな電気通信サービスのトラブルを出来る限りなくすため、消費者保護に関するルールを充実・強化させたり、青少年をはじめとした消費者への周知・啓発を行う取組をしています。全ての消費者に、安心・安全に電気通信サービスを利用してもらうため、日々奮闘中です。

『ルール作りだけ？NOです！』

さて、“消費者保護”と言っても、どうせ役所はルールや制度を作るだけで、後は現場任せでは？と思われるかもしれませんが、そんなことはありません！いくらルールを作っても実際にそのルールが守られなかったり、消費者が制度を知らなければ意味がないですよね。そこで私たちは、消費者保護ルールの実施状況について、定期的に調査し、結果等を関係者で共有する取組を行っています。調査方法は、事業者が出す契約書サンプル等の書面調査、実際の店舗への覆面調査、消費者からの苦情の分析調査など様々です。また、一般の消費者にも制度や注意事項を知ってもらうために、周知・啓発用のパンフレットを作成し、広く配布することも、重要な仕事の1つです。

時には、高校生を招いて意見交換したり、関係団体の取組を支援したりと、常に現場からの風を感じて仕事ができる毎日は、刺激的です。アクティブに仕事をしたいという方、ぜひお待ちしております♪



Private Time

最近の楽しみは、2歳の甥っ子と9ヶ月になる姪っ子の成長です！休みが合えば、頻繁に会いに行くのですが、毎回、出来ることや話す言葉数が増えていて、いちいち感動してしまいます。先日は、お休みをもらって一緒に温泉旅行に行ってきました。このように、調整次第でお休みも取りやすいことも、私たちの職場のよいところだと思っています。

くらしを支える 移動通信システム

総合通信基盤局電波部移動通信課移動体推進係長

黒川 理雄 KUROKAWA Michio

平成21年 4月 総務省採用
総合通信基盤局電波部電波政策課
平成23年 7月 情報流通行政局放送政策課
平成24年 8月 総合通信基盤局総務課
平成26年 8月 総合通信基盤局電波部移動通信課
平成27年 8月 現職

Some One Week

Monday

先週までの業務の進捗、今週の予定をラインで共有。事業者から新しいシステムの導入の相談。

Tuesday

既存のシステムの運用状況について事業者からヒアリング。現状の把握と今後の業務に活用。

Wednesday

事業者が実験中の新しいシステムを視察。実物を見ることが重要。開発中の新システムについても情報収集と意見交換。

Thursday

新しいシステムを使用する無線局の免許方針について論点整理。課題について事業者と共有。



Friday

免許方針案を策定し、課内説明。指摘があった事項について引き続き検討。

『新世代の情報通信技術を届ける』

1979年に携帯電話サービスが開始(当初は自動車電話でした。)されてから数十年、スマートフォンが登場してから約10年。携帯電話の技術は世代を重ね、通話だけでなく、ネットや動画視聴等を気軽に移動しながら利用できるような時代になりました。

さらに、東京オリンピック・パラリンピック、その先のIoT時代を見据えて、産学官が連携して新世代の移動通信システムの導入に向けた議論も進められています。

一方で、移動通信システムは、限られた資源であり空間を伝搬する電波を使用して通信をしています。このため、誰もが自由に電波を使用して通信をすると混信が発生してしまいます。

私が所属している移動通信課では、国民の皆様が、日々進化する移動通信システムの進化を身近に感じ、ビジネスなどにも活用できるよう、事業者やメーカー、研究者の皆様の意見や諸外国の状況も踏まえて、国際標準化や技術基準作り、統一された利用の仕組みづくりに取り組んでいます。

『くらしのなかに情報通信』

情報通信は技術革新が早く、また、近年ではその影響は多岐にわたります。現在議論されている新世代の移動通信システム(5G)は、医療、交通、農業等様々な分野で多様な形でユーザの皆様にご利用されることが想定されています。

「くらしのなかに総務省」。総務省のスローガンです。携帯電話の契約者は1億数千万。日本の人口を超え、さらに利用は増大するでしょう。今以上に、情報通信技術は多様な社会活動の基盤となり、国民の皆様のくらしを支えて行くことが期待されています。

上でも書いたとおり、総務省では、多くの人たちと関わり、意見を伺いながら、日々発展する情報通信技術が国民の皆様のくらしに届けるための制度を作り運用しています。その結果をユーザの一人として自身のくらしのなかで実感できることが魅力の一つです。新たに生まれる技術にアンテナを立て、より活気ある社会の実現を志す皆様、総務省で新しい世代の情報通信の制度作りと一緒にチャレンジしてみませんか。



Private Time

花見や七夕など四季折々に理由を作って、職場の皆さんとお酒を楽しんでいます。が、最近では体重が。。。。

このため業務後や週末は、リフレッシュと健康維持をかねて、ジムに行ったり散歩したりして体を動かしています。

世界を俯瞰した業務

情報流通行政局郵政行政部郵便課国際企画室課長補佐

青木 勇司 AOKI Yuji

○係員時代 〈通信新時代の夜明け〉

総合通信基盤局事業政策課において、当時一社体制であったNTTを現行の持株会社、東日本会社、西日本会社、長距離会社の4つの会社に分割にするプロジェクトに約3年間携わっていました。利害関係者が多数いる中、様々な激論を交わしたことが印象に残っています。とてもハードな毎日でしたが、上司から仕事のやり方を一から叩き込まれました。今振り返ると、今後、仕事を行っていく上での基礎を学んだ気がします。

○係長時代 〈世界を相手に奔走〉

在ベトナム日本大使館でテレコムアタッシュェとして3年間勤務しました。初めての海外勤務で戸惑うことも多かったですが、外交官としての役割の重要性を認識するとともに、一つの仕事を自ら完結することの楽しさも覚えました。その後もアメリカ、スイスに駐在し、日本との架け橋として奔走し、皇太子殿下、総理大臣、総務大臣を海外で受け入れる仕事は貴重な経験となっており、当時の仕事相手とは今でも交流があります。

○今、そしてこれから 〈世界屈指の品質を提供〉

現在は、国際企画室で日本型郵便システムの海外展開事業の仕事をしています。日本政府は海外へのインフラ輸出を成長戦略の柱としており、日本の優れた郵便システムを官民一体となり、主に東南アジア各国に売り込みをしています。海外出張が多く体調管理は大変ですが、日本の素晴らしい技術、システムを海外に伝えるセールスマンとして日々交渉を行うことはとてもやり甲斐があり、成立した時の喜びはひとしおです。

MESSAGE

これまで本省だけでなく地方や海外勤務を通じて貴重な経験を沢山したことは、日本を内外から見ることができ大変有意義でした。総務省は多くの可能性、チャンスを与えてくれる役所です。是非、一緒に仕事をしましょう。

Profile

平成 4年 4月 郵政省採用
大臣官房人事部能力開発課
平成 4年 7月 放送行政局第一業務課
平成 6年 7月 大臣官房国際部国際機関課
平成 7年 4月 大臣官房人事部能力開発課
平成 7年 6月 大臣官房人事部人事課能力開発室
平成 8年 4月 電気通信局電気通信事業部事業政策課
平成10年 7月 電気通信局総務課
平成11年 7月 上福岡郵便局郵便課長
平成12年 7月 大臣官房国際部国際政策課国際広報係長
平成13年 1月 総合通信基盤局国際部国際政策課国際広報係長
平成13年 5月 外務省在ベトナム日本国大使館二等書記官
平成16年 6月 総合通信基盤局国際部国際政策課主査
平成16年 7月 総合通信基盤局国際部国際協力課アジア太平洋地域係長
平成18年 8月 総合通信基盤局電気通信事業部事業政策課制度係長
平成19年 7月 総合通信基盤局電気通信事業部事業政策課企画係長
平成20年 7月 総合通信基盤局電気通信事業部消費者行政課課長補佐
平成20年10月 人事院行政官短期在外研究員(アメリカ合衆国)
平成21年 5月 内閣府青少年インターネット環境整備推進室室員
平成22年 7月 情報通信国際戦略局国際政策課課長補佐
平成24年 6月 外務省在スイス日本国大使館一等書記官
平成27年 7月 情報流通行政局郵政行政部企画課課長補佐
平成27年 8月 現職



交渉の様様

Career Interview



好奇心旺盛なあなたを お待ちしております

行政管理局主査 併任 内閣人事局
當山 祥子 TOUYAMA Shoko

- 平成18年 4月 総務省採用
関東管区行政評価局
- 平成19年 4月 茨城行政評価事務所行政相談課
- 平成19年12月 茨城行政評価事務所年金記録確認茨城地方第三者委員会事務局調査員
- 平成21年 4月 行政評価局政策評価官付
- 平成23年 4月 行政管理局行政情報システム企画課個人情報保護室
- 平成25年 4月 行政管理局行政情報システム企画課情報システム管理室総合申請係長
- 平成27年 4月 現職

『責任のある仕事です!』

私は、現在、主に内閣人事局というところで、各府省が行う機構・定員の要求について審査等を行う業務に従事しています。あまり耳慣れない業務かもしれませんが、具体的には、毎年8月末に各府省より次年度の機構・定員等に関する要求が出てくるので、9月から年末までのいわゆる「査定期間」中において、自分の担当する府省から要求内容等の説明を受け、要求を認めるかどうかについて審査を行っています。

各府省が新しい業務を始めるに当たって、それを遂行するためにどういった体制を整えるかは業務の成功に関わる重要な事項であると思いますので、各府省の業務を知り、要望を聞き、メリハリのある審査ができるよう、日々責任を感じながら業務に当たっています。

査定期以外の時期については、行政管理局の業務として、各府省の既存の業務プロセスについて課題を把握し、その利便性向上に各府省とともに取り組むといった業務改革の推進に関する業務なども行っています。

『色々なことをやっています!』

私が総務省を志望した理由は、行政評価・監視という業務を通じて、調査の度に様々な府省の仕事に触れることができるので、飽きなくて楽しそうだなあというくらいのごく軽い気持ちでした。ですが、実際に採用されてからは、地方事務所での行政相談を皮切りに、本省で勤務するようになってからも各府省に共通する法制度の運用、国民や各府省が利用する情報システムの開発・運用、そして現在の機構・定員審査業務と、自分が想像していたよりも遥かに幅広い業務に従事しており、全く刺激がなくなることがありません(日々勉強です...)

一見全く異なる業務の集合体であるように思えるかもしれませんが、国の行政をより良くすることを旨とするという目的はどれも一緒です。現状に留まらず常に新しさを求める好奇心旺盛なあなた、総務省のドアを叩いてみませんか?



Private Time

週末は疲れを癒すために家でゴロゴロしたいところですが、出不精にならないようなるべく外へ出るように心がけています。特に趣味の音楽フェスには、地方も含め毎年3~4か所足を運んでいます。青空の下、ビールを片手に好きな音楽を聴く時間は最高です!

Some One Week

Monday

今週末はいよいよ要求を審査する「局議」。これに向けて担当府省からヒアリング。

Tuesday

昨日のヒアリングで出した疑問点への回答が返ってきたので、それを元に説明資料を手直し。

Wednesday

局議の前に、資料を参事官に説明。アドバイスを受けて大急ぎで修正。

Thursday

いよいよ局議。緊張の瞬間。たくさん指摘を受けてしまった...

Friday

担当府省と打合せ。昨日の局議結果を伝達し、次回の局議に向け作業依頼。



国民のための 行政の推進

行政評価局 調査官
中村 隆一 NAKAMURA Ryuichi

- 昭和61年 4月 総務庁採用
近畿管区行政監察局
- 平成14年 4月 行政管理局企画調整課総務係長
- 平成16年 7月 行政評価局評価監視調査官
- 平成18年 7月 大臣官房総務課課長補佐
- 平成19年 4月 大臣官房秘書課課長補佐
- 平成20年 7月 行政管理局副管理官
- 平成22年 8月 行政評価局評価監視調査官
- 平成24年 4月 行政評価局総括評価監視調査官
- 平成25年 6月 現職

『現場をつぶさに見れば良く分かる』

行政評価局は、効果的、効率的な行政を推進するため、各府省が実施している業務の課題と原因を明らかにし、改善策を示していくという仕事を行っています。具体的には、本省で企画した調査計画に基づき、全国に配置されている出先機関である管区行政評価局が、国の機関、独立行政法人、地方公共団体、民間事業者等の現場を实地調査して把握したつぶさな行政実態等を分析、評価し、関係府省に改善策を勧告するというものです。

行政が実施している様々な政策、施策、事務・事業は目的的に遂行することが必要ですが、現場では企図したとおりに効果を挙げていなかったり、目的と実際の業務実態等にズレが生じていたりすることはよくあります。当事者では見えにくくなるものを第三者的視点で、あるいは府省横断的な視点から、国民は何に困っているのか、それはなぜ起こっているのかを明らかにした上で、関係府省に改善を求めていくやりがいのある仕事です。

『自由な発想と活発な議論』

様々な行政課題の中から行政評価局が行う調査としてのテーマを考え、優先順位をつけて実施していくに当たり、行政評価局は調査テーマのシーズを入りたての1年生からも自由に提案できる風通しの良い職場です。テーマのシーズを提案するには、常日ごろから職員一人一人がアンテナを高くし、変化を見極め、問題意識を持って事象を見ていくことが必要です。しかし、一人よがりになってはいけませんので、皆で予想される問題の本質について年齢・役職関係なく徹底的に議論を戦わせ、テーマとして妥当かどうかを検討していきます。このことが、ダイバシティあふれる集団である私たちの強みですので、異能な者、大歓迎です!!

国民のための仕事为国家公務員の原点であることさえ肝に銘じていれば、あとは自由な職場環境です。

Some One Week

Monday

毎週月曜日に行う室内連絡会で、各班の業務進捗状況と今後の予定を確認



Tuesday

A班による調査計画のコンセプトについて、室内検討、修正指示

Wednesday

B班による調査結果の取りまとめ方法について、室内検討、修正指示

Thursday

勧告後の各府省の改善状況についてフォローを行っているC班を指導

Friday

A班による調査計画のコンセプトの審議官、局長説明(1ラウンド)



Private Time

大きくなった?妻と娘2人(社会人&大学生)にかまってもらえない普通の親父は、毎朝・晩と必ず見送り、出迎えてくれる愛犬と、休日はドライブ&散歩を思いっきり楽しんでいます。ドッグランで思いっきり自由に走り回る愛犬を見るのが好きです。

みんなで大きな ものを作り上げる

統計局統計調査部経済統計課統計専門職

岩本 明子 IWAMOTO Akiko

平成21年 4月 総務省採用
統計局総務課人事係
平成22年 4月 大臣官房秘書課
平成24年 4月 統計局統計調査部消費統計課企画指導第一係
平成26年 4月 経済産業省大臣官房参事官付
併任 経済産業省大臣官房調査統計グループ
構造統計室
平成28年 4月 現職

Some One Week

Monday

予算要求資料の作成、上司へ確認依頼。



Tuesday

経済産業省、都道府県、調査対象事業所からの照会対応。

Wednesday

都道府県に訪問し、統計担当者から県の実態、今後の問題点について意見交換。

Thursday

政令指定都市にも訪問し、市ならではの気づきについて意見交換。

Friday

次回調査に向けて、今回調査の実施状況報告を作成。

Private Time

平日は慌ただしいことが多いので、土日は気になるカフェや映画館・美術館に行ったり、地元を散歩したりとゆっくりと過ごしています。
のんびりと外を歩いていると気分転換にもなり季節を感じることも出来るので、忙しい時期でも心に余裕を持って過ごせます。



合理的な 意思決定のために

統計局統計調査部国勢統計課労働力人口統計室統計専門職

矢野 広典 YANO Hironori

平成21年10月 総務省採用
統計局統計調査部経済基本構造統計課企画係
平成25年 4月 人事・恩給局総務課総括係
平成26年 5月 内閣官房内閣人事局(総括係)
平成27年 4月 統計局統計調査部国勢統計課労働力人口統計室
企画指導第三係
平成28年10月 現職

Some One Week

Monday

全国の都道府県担当者へ調査の準備状況を連絡。調査を円滑に実施するためには、地方公共団体との連携は欠かせません。



Tuesday

調査で使用する用品について、民間事業者と打合せを行いました。

Wednesday

この日は広報活動の事前準備を行いました。調査の実施について多くの方に知っていただくため、広報活動も大切な仕事です。

Thursday

翌日の京都での会議に向けた準備・最終確認を終えて、午後には新幹線で移動です。

Friday

京都での会議に参加。調査の実施に向け、都道府県担当者へ調査事務の説明を行いました。

『皆さんの生活を統計に』

皆さんは、毎日をどのように過ごしていますか。私の担当する社会生活基本調査は、皆さんが1日の時間をどのように使っているか、また、1年間にどのような活動を行っているかを把握する統計調査です。

近年、ワーク・ライフ・バランスという言葉が耳にするようになりました。ワーク・ライフ・バランスのあり方は一人一人異なるかもしれませんが、政府がワーク・ライフ・バランスの実現に向けた施策を推進するためには、目標を定め、実現の状況を客観的に把握する必要があります。その指標として、社会生活基本調査から分かる育児・家事関連時間、通勤時間、休養・くつろぎの時間やボランティア活動の状況等が利用されています。

どのような分野の施策であっても、それを推進するためには、現状を正しく表す客観的なデータが必要となります。統計局では、統計調査の結果を通じて様々な行政施策の基礎資料を提供しています。

『統計調査も人次第』

統計の業務と聞くと、数式ばかりを扱っているのでは?と思われるかもしれませんが、統計調査は、国民の皆様、地方公共団体職員など、多くの人々と関わりながら実施しています。正確な統計を作成するためには、調査に回答して下さる皆様はもちろん、調査に携わる全ての人に調査の趣旨や必要性を理解してもらう必要があります。そこでは、統計に関する知識だけでなく、コミュニケーション能力、業務遂行能力など様々なスキルが必要となります。現在、統計に関する知識がなくても、皆さんの能力を活かせる場所があるはずですよ。

また、総務省は、統計以外にも国民生活の基盤に関わる幅広い業務を担っています。私は以前、国家公務員の人事行政に携わっていましたが、国家公務員制度改革が進む中で、統計以外の業務を経験できたことは、現在でも貴重な財産となっています。

皆さんも国民生活を支える総務省で自身の能力を発揮してみませんか。



Private Time

どんな仕事でも、体力は大事な要素の一つ。日に日に落ちる体力をカバーするため、週末は出来る限り運動するように心がけています。
写真は通っているキックボクシングジムでの一枚。職場以外の人との交流も、とてもいい刺激になります。

総務省だからこそ できること

統計専門職
(政策統括官(統計基準担当)付統計企画管理官付)

武井 大 TAKEI Futoshi

平成16年 4月 総務省採用
統計局消費統計課物価統計室物価指数第一係
平成19年 4月 行政管理局行政情報システム企画課情報システム管理室
平成21年 4月 内閣府経済社会総合研究所景気統計部
平成23年 4月 統計局統計調査部経済統計課統計専門職
平成26年 4月 統計局総務課主査
併任 政策統括官(統計基準担当)付統計企画管理官付
平成28年 4月 現職

Some One Week

Monday

業務進捗と予定の共有。中央省庁間会議開催の資料等準備。

Tuesday

地方公共団体ヒアリングのための日帰り出張。

Wednesday

会議参加事業者・審議協力者に会議趣旨の事前説明等。

Thursday

会議開催後、次回に向け議事要旨・対応方針等の整理。



Friday

財務省主計局と統計予算の打合せ。来週以降の会議資料の検討。

『政府統計の全体的な整備の推進に関わる仕事をしています』

政府統計の全体的な整備の推進に関わる仕事があることを、皆さんは、ご存じでしょうか？

各中央省庁で作成され、政策立案のための基礎データなどとして使用される統計ですが、社会経済情勢の変化とともに、求められる統計も日々刻々と移り変わっていくものです。そういった変化にも対応しつつ、『社会の情報基盤』としての統計の役割を果たすために、政府統計の全体的な整備について、定期的に計画し、その計画を着実に推進するための仕事に現在携わっています。

政府統計の全体的な整備に関する施策・計画は、統計が表す現在・未来・過去の集団の性質・傾向を正確に示すことへの追求はもちろんのこと、統計作成のために生じる国民への負担の軽減、他データの活用による効率的な作成、国際間比較可能性の確保、データのオープン化、ジェンダーなど、様々な視点から作成されています。

『総務省だからこそできること(実体験から)』

私が総務省に入省してからこれまで、政府統計の整備に関する施策・計画の推進、政府全体の共通的な情報システムの構築・運用など、中央省庁間の横の連絡・調整が密に必要とされる業務に携わりましたが、世間では縦割り行政などと言われている中で、そういった中央省庁横断的な仕事に携われるのは、総務省だからこそです。

また、金融政策で利用される日本の物価等の景気指標、様々な施策等に利用される国内の人口・世帯の実態の指標など、様々な要素・視点から日本全体を俯瞰できる統計の企画立案・作成、利用者の利便性に配慮した中央省庁統計ポータルサイトの構築・運用などの仕事に携わることができるのも、総務省の魅力の1つだと思います。

皆さんも、中央省庁の中でも総務省だからこそできる仕事に、私たちと一緒に携わってみませんか？



Private Time

休日の天気の良い日は滑り台などの遊具のある公園・屋外施設で、悪い日は自宅・屋内施設で子供と一緒に遊びます。妻が職場に復帰し、育児に積極的に参加し始めた当初は、子供に常時神経を尖らせていましたが、想像以上の子供の成長に助けられ、この頃は一緒に遊びを楽しむことができてきました。

国民生活の基盤を支える

統計局総務課課長補佐

堀田 靖子 HORITA Yasuko

○係員時代 〈社会人の礎を築く〉

係員時代、特に入省当時は、社会人、そして公務員としての自覚を持つことを意識していました。初めて担当した統計データの集計の業務では、情報通信技術の基礎を身につけるなど、業務に関連したあらゆることを学ぶという意識で努めていました。また、日本学術会議事務局では、名だたる学者の方々と接することにより薫陶を受け、学ぶことの大切さを改めて認識しました。今でも私の礎は、業務など、何事からも学ぶということです。

○係長時代 〈知見を広げる〉

係長職の時代は幅広い業務に携わり、他省庁勤務を含め多岐にわたる業務を経験することができました。その中でも一番長く携ったのは広報でした。政府や内閣の様々な重要施策の広報や、タウンミーティングという国民の意見に直接接する業務において、いかにして施策の内容を国民に理解していただくかを心がけました。これを通じて国民の立場から施策を考える視点を身につけたことは、私にとって重要な経験となっています。

○今、そしてこれから 〈グローバルな視野をもつ〉

現在は統計局で国際業務を担当しています。グローバル化が進む現代、統計分野においてもその重要性が増しています。統計局でも様々な国際交流を行っており、最近では外国の国家統計機関との二国間交流を推進すべく、ベトナム統計総局及びモンゴル国家統計局との協力関係を明文化した覚書の締結に尽力しました。国際交流推進の重要施策に携わったことは達成感もひとしおです。今後もグローバルな視野で業務に邁進したいと思います。

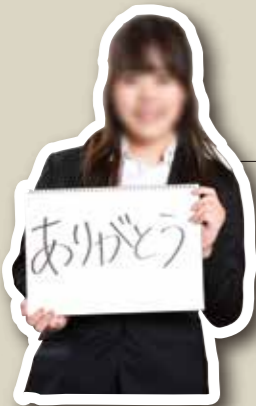
MESSAGE

総務省は国民生活の基盤を支える行政を担っています。業務も多岐にわたり、あなたの夢を実現できるかもしれません。何事にも好奇心とチャレンジ精神をもって取り組み、可能性を開花させることができる職場です。

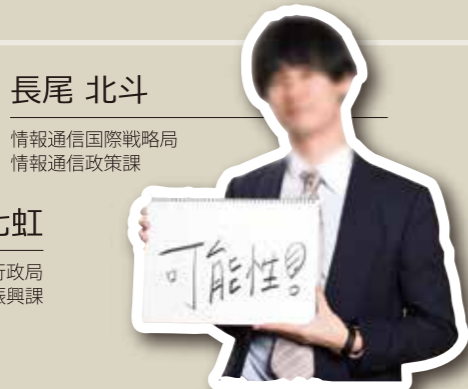


ベトナム統計総局との覚書に基づく協力会議
(2017年2月、ベトナムトゥアティエン・フエ省統計局にて)

Career Interview



工藤 七虹
情報流通行政局
地域通信振興課



長尾 北斗
情報通信国際戦略局
情報通信政策課



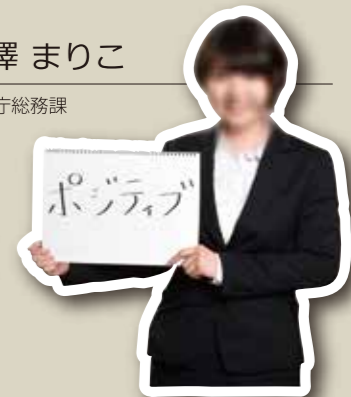
中村 慎太郎
総合通信基盤局総務課



柴田 卓也
統計局統計調査部
消費統計課

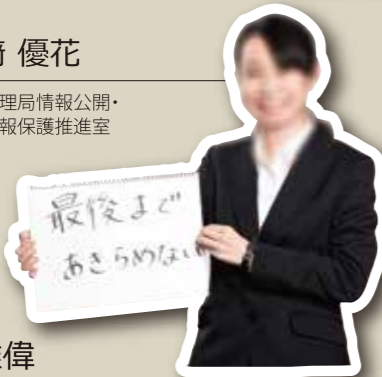


小野 峻明
大臣官房秘書課



芦澤 まりこ
消防庁総務課

山崎 優花
行政管理局情報公開・
個人情報保護推進室



原崎 美希
行政評価局評価監視官
(財務・文部科学等担当)室



佐藤 詩織
自治税務局固定資産税課



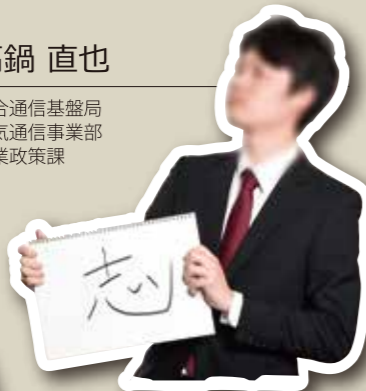
吉田 優作
自治行政局
選挙部政治資金課
支出情報開示室



出井 湧也
行政評価局評価監視官
(厚生労働等担当)室



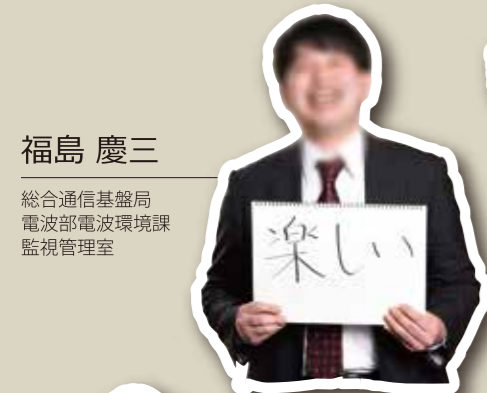
黒川 惟偉
情報流通行政局
地上放送課



高鍋 直也
総合通信基盤局
電気通信事業部
事業政策課



荻野 紗帆
大臣官房秘書課



福島 慶三
総合通信基盤局
電波部電波環境課
監視管理室



鷺住 里恵
統計局統計調査部
国勢統計課労働力人口統計室



安部 綾華
総合通信基盤局総務課



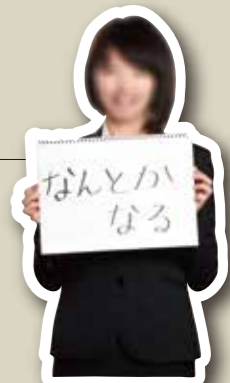
小川 悠
大臣官房企画課
サイバーセキュリティ・
情報化推進室



戎 莞爾
大臣官房秘書課



黒田 喜穂
自治財政局
財政課総務室



上月 美咲
消防庁総務課



若目田 圭佑
自治行政局選挙部管理課



熱田 翔
行政評価局総務課
地方業務室



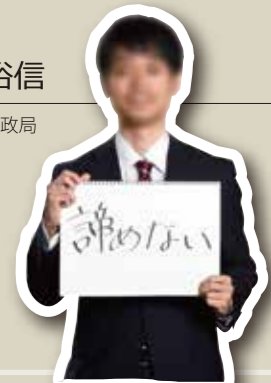
岡部 孝晃
統計局統計調査部
国勢統計課
労働力人口統計室



北田 雄太郎
自治行政局行政課総務室

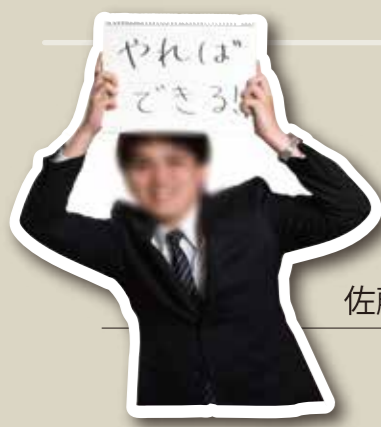


黒須 貴裕
情報流通行政局
情報流通振興課



郡山 裕信
情報流通行政局
総務課

平成29年度 入省者に聞きました! Question! 好きな言葉は?



佐藤 元哉
自治大学校



菅野 美咲
統計局統計利用推進課



高瀬 弘隆
消防庁消防・救急課



松田 陽平
自治税務局
企画課総務室



田村 日奈
情報流通行政局
衛星・地域放送課
国際放送推進室



矢島 鉄平
統計局統計調査部
国勢統計課



宮澤 明香里
大臣官房秘書課



高橋 いくみ
自治行政局
選挙部政治資金課
支出情報開示室



大島 徹也
情報流通行政局
衛星・地域放送課



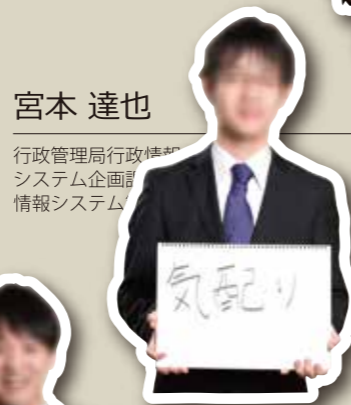
立川 智美
大臣官房会計課



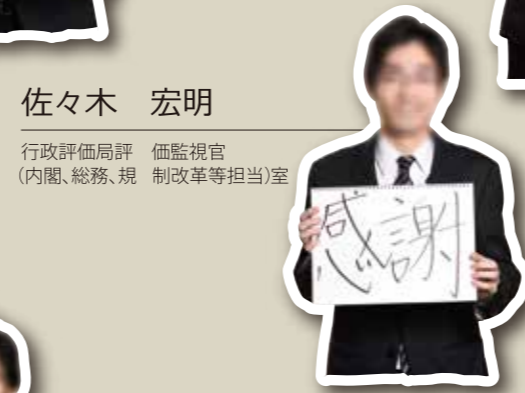
菅原 裕基
統計局統計調査部
経済統計課



田島 大毅
消防庁国民保護・
防災部防災課



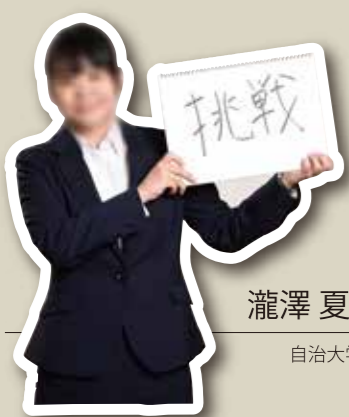
宮本 達也
行政管理局行政情報
システム企画課
情報システム



佐々木 宏明
行政評価局評 価監視官
(内閣、総務、規 制改革等担当)室



荒木 友愛
情報通信国際戦略局
技術政策課



瀧澤 夏希
自治大学校



深津 亮介
消防庁総務課



佐藤 伸昭
自治行政局
選挙部政治資金課
支出情報開示室



康乗 将平
自治行政局
選挙部政治資金課
支出情報開示室



田邊 つかさ
統計局統計調査部
調査企画課



丹野 花奈子
情報通信国際戦略局
国際政策課



廣木 朗
総合通信基盤局
電波部電波政策課



鈴木 みなみ
情報通信国際戦略局
国際経済課



西ヶ谷 早紀
統計局統計 調査部
調査企画課



川庄 瑞紀
統計局総務課



中館 凌我
統計局総務課



中田 千尋
大臣官房会計課



藤井 望美
行政評価局総務課



西川 卓磨
消防庁消防大学校



森田 結衣
自治行政局
選挙部管理課



岡本 美奈
統計局総務課



矢澤 秀訓
大臣官房会計課



佐藤 維哉
統計局統計調査部
国勢統計課

行政のレベル・アップを求めて



近畿管区行政評価局第一部長
龍宮 克宏 TATSUMIYA Katsuhiko

- 昭和55年 4月 行政管理庁採用
- 近畿管区行政監察局
- 平成14年 4月 行政評価局評価監視調査官
- 平成17年 7月 行政評価局総括評価監視調査官
- 平成18年 7月 内閣官房行政改革推進室企画官
- 平成20年 2月 行政評価局総務課評価監視企画官
- 平成23年 4月 行政評価局行政相談課行政相談業務室長
- 平成24年 4月 中部管区行政評価局第二部長
- 平成26年 4月 九州管区行政評価局第二部長
- 平成27年 4月 九州管区行政評価局第一部長
- 平成28年 4月 現職

Some One Week

Monday

本省監視官と調査の進め方など打合せ。管区局監視官に伝達、指示

Tuesday

次期地域計画調査の主なチェック事項等(骨格)の作成、検討

Wednesday

本省地方業務室長に次期地域計画調査の概要など事前連絡

Thursday

管区局監視官と全国計画調査の取りまとめ内容の検討、修正指示

Friday

次期全国計画調査に先行し現地を下見。概要と写真本省にも提供

『基本的な調査は2種類』

「出先」となる管区局で、行政評価局調査を担当しています。調査は、基本的に2種類(他に「政策評価」も)。本省が企画する「全国計画調査」と、出先が独自に企画する「地域計画調査」です。①全国計画調査は、本省の設計に基づき、全国ネットで管区局や事務所が実地調査(4か月が基本)を行い、「実証データ」を把握します。本省が調査結果全体を取りまとめ、関係府省に制度改正など「勧告」を行うという流れです。②地域計画調査は、本省の動員計画(どの調査にどの局所を動員するか)に生じた「アキ」を活用し、管区局が独自に企画(毎年2テーマ程度)。調査の結果、改善すべき事項などあれば、調査対象機関に「改善意見」を通知します。調査で重要かつ基本となるのは、「事実の正確な把握」です。どちらの調査も、国民のために、行政のレベル・アップを求める活動です。29年度からは、実地調査1か月の短期調査も行います。ニーズの変化に対応する試みです。

『現場』に出向く』

「自ら考える」という苦しさなどありますが、独自企画の調査に大きな意義を感じます。前任の九州管区局で、火山の安全対策を調査しました。九州には、桜島など火山が多い。御嶽山噴火による死傷事故も踏まえた調査です。同じような事故が九州で発生しないとも限りません。県や市町村、山上で営業する事業者などの御協力も得て、安全対策の取組状況を調べました。調査チームの職員(監視官以下5人)は、立入可能な範囲で阿蘇山などにも実際に登り、退避壕の状況など確認しました。福岡から出張し、夏の暑い中、いつ噴火するか分からない危険も伴います。チームには、先々も考え、新規採用職員を加えました。きつい調査のはずが、「これまでの業務にない経験ができ、おもしろかった」との感想。期待以上の成長です。報道資料には、メンバーの苦勞も伝わるよう、現地踏査の写真も添付。記者会見には、メディア9社、カメラ4台が入る、地方で異例の反響でした。

Private Time



健康管理を兼ね、土日どちらかでスロージョギング。大和川の土手がマイコースです。体調や風向き等に応じ、折り返し地点を決めます。気ままに6km程度。四季折々の景色もながめながら、ひたすらマイペース。抜かれることはあっても、追い抜くことはまずないですね。汗をかき、体内脂肪を燃やすことが最優先なので。

国民の声を行政に届ける



沖縄行政評価事務所行政相談課業務係長
長嶺 忍 NAGAMINE Shinobu

- 平成22年 4月 総務省採用
- 沖縄行政評価事務所
- 平成23年 4月 沖縄行政評価事務所評価監視官付
- 平成24年 4月 行政評価局総務課地方業務室
- 平成25年 4月 行政評価局行政相談課
- 平成26年 4月 九州管区行政評価局第一評価監視調査官
- 平成28年 4月 現職

Some One Week

Monday

翌日の合同相談所開設に向けて必要物品等の最終準備(1回目)。

Tuesday

A市で合同相談所開設。全所を挙げた一大イベントです。



Wednesday

A市合同相談所の整理をしつつ、金曜のB市合同相談所開設に向けて準備。

Thursday

翌日の合同相談所開設に向けて必要物品等の最終準備(2回目)。

Friday

B市で合同相談所開設。終了後は打ち上げへ!

『多様な窓口、行政相談』

私は現在、総務省沖縄行政評価事務所の行政相談課に所属しています。行政相談課は、その名のとおり、国民の皆様から行政に関する相談を受け付けています。

相談内容は福祉、道路、税金、年金など多岐にわたり、それらに関する国の行政などへの苦情や意見・要望について、公正・中立な立場で解決します。人の数だけ相談内容は異なり、関係制度などを調べていくと自分自身の勉強にもつながります。

相談の受付は多様な窓口を用意しており、事務所職員が電話やメールで対応するほか、他省庁の出先機関や県、市町村などの協力を得て一日合同行政相談所を開設し、ワンストップで悩みを解決する取組も行っています。

また、総務大臣が委嘱して県内に約70人(全国では約5,000人)配置されている行政相談委員も重要な受付窓口です。時には職員と行政相談委員が協力して相談所を開設することもあり、離島に向かいお手伝いをするなど、相談課の仕事は大変アクティブです!

『くらしの中に総務省』

皆様は総務省についてどのようなイメージをお持ちですか。私は、正直に言うとう味な役所ではないかと思っております。というのも、他省庁であれば機関名で業務内容の想像がつかうと思いますが、「総務省」というと、どうもいろんな仕事をしているようだけ具体的にはよく分からない、そんな感覚ではないでしょうか。

ここでご紹介したいのが、総務省のキャッチフレーズ「くらしの中に総務省」です。まさに、総務省はくらしの中に地味に溶け込んでいるのです。ご紹介した行政相談もそうですが、その他にも国民生活の動向を数値で表す統計調査、住民に最も身近な行政を担う地方自治の支援、地デジやスマホなど情報通信技術の利活用促進など、国民生活に直結した仕事を行っています。

総務省は目立つ役所ではありませんが、国家機関という巨大な組織にいながら、自身も一国民であることを忘れずに、国民のくらしに密着した仕事ができる、そんな役所だと思います。

Private Time



沖縄行政評価事務所では、休日の部活動(?)が盛んです。転勤で沖縄勤務となった職員を中心に、シュノーケル、ホエールウォッチング、釣りなどアクティビティが充実しています。沖縄出身の私は、いつか行きたいとこれまでそのような遊びをしてこなかったので、今、県外出身の方から地元の魅力を教えてもらっているところです。

地域に出て 初めてわかること



関東総合通信局情報通信部情報通信連携推進課長
道祖土 直美 SAIDO Naomi

- 平成10年 4月 郵政省採用
大臣官房人事部人材開発課
- 平成10年 7月 郵務局企画課
- 平成13年 1月 郵政企画管理局郵便企画課
- 平成14年 8月 郵政企画管理局総合企画課
- 平成15年 4月 情報通信政策局地域通信振興課
- 平成16年 7月 情報通信政策局情報流通振興課情報流通高度化推進室企画係長
- 平成18年 8月 総合通信基盤局電気通信事業部データ通信課企画係長
- 平成20年 7月 内閣府経済社会総合研究所国民経済計算部国民生産課研究専門職
- 平成22年 7月 情報通信国際戦略局通信規格課標準企画係長
- 平成24年 8月 総合通信基盤局電気通信事業部事業政策課調整係長
- 平成26年 8月 情報通信国際戦略局情報通信政策課制度係長
- 平成28年 7月 現職

Some One Week

Monday

週初めは部局の連絡会議に参加して業務報告。課の職員にフィードバックし、職員からは業務の進捗状況等報告。

Tuesday

本省の報道発表を確認、外の講演会に参加。有益な情報を局内の関係課や自治体等必要と思われる方に提供。



Wednesday

各総合通信局参加の会議に参加し、当局の取組を説明。他局の動向も把握、次年度に向けた意見交換。

Thursday

職員から今後開催のイベントの説明を受け、幹部等へのレク資料を作成。

Friday

来週の業務スケジュールを確認。午後は関東ICT推進NPO連絡協議会幹事会を開催し、幹事から次年度の計画を発表、意見交換。

『研究開発・NPOの地域の情報化活動の支援』

地域に根ざした大学等の研究者やICTのベンチャーに対して、SCOPE、I-Challenge!などのスキームを使ってICT分野の研究開発を支援しています。管内に大学は多くありますが、提案は一部の大学に限られているため、大学、自治体等に赴き、施策の周知、要望や課題等をヒアリング、改善事項があれば本省に要望し、地域の研究者が活動しやすい環境づくりを進めています。

また、地域の情報化を進めるのは企業や自治体だけではなく。管内のNPO等が連携した組織「関東ICT推進NPO連絡協議会」を組成し、NPO等による地域の情報化活動の支援も行っています。関東総合通信局には、東京のような大都市もあれば、山間の小さな市町村もあります。良くも悪くも情報が氾濫する時代の中、自分にとって必要な情報を取捨選択するのが難しくなっています。その中で、総合通信局の役割は、それぞれの地域の特性を踏まえた対応が求められているといえます。

『地域のためにできること』

私は入省以来、他省庁への出向を含め、本省(霞ヶ関)に勤務しており、初めて地方組織の勤務となりました。管内には1都7県あり、地域によって全く事情が異なります。そのため、求められる支援も都道府県市区町村の数だけ多様になり、日頃の接触の中で相手のニーズを把握し、きめ細やかな対応が重要な役割と思っています。総合通信局に出て実感したのは、現場最前線にいる分、地域の抱える切実な課題に直面し、本省の施策が必ずしも地域の事情にあわないことがあり、一律のやり方は通じないことがあるということ。この点、本省に在籍していた過去の自分を振り返ると反省することもあります。今ここにいる私にできることは、問題を認識した際、現在本省に在籍する同僚や上司に問題点を率直に伝えて、一緒に打開策を探り出すことだと思っています。今後、私が本省に戻った際は、こうした現場経験に裏付けられた施策を打ち出していきたいと思えます。



Private Time

毎年、職場の同僚を誘ってスキー(ボード)に出かけています。白銀の世界にひとたび出ると一気にストレス0になります(スキーはどうでもいいのかも)。最近はおもった日帰りメインですが、出発時間が少し遅くなった気が。。。メンバーは毎年替わりますが、新規の勧誘はトイレかコピー機前。オフシーズンは、旅行、パン作り、ヨガなど。

時間と距離を 超越する通信の未来



中国総合通信局無線通信部陸上課

水本 涼子

MIZUMOTO Ryoko

- 平成22年 4月 総務省採用
中国総合通信局総務部総務課企画広報室
- 平成22年10月 中国総合通信局情報通信部電気通信事業課
- 平成24年 4月 総合通信基盤局電波部電波政策課
- 平成26年 8月 情報通信国際戦略局情報通信政策課管理室
- 平成28年 4月 現職

Some One Week

Monday

無線局11局の定期検査のため、他県へ出張。免許人と合流します。

Tuesday

山から山へ移動する2日間の検査が終了。測定結果に問題がなくて一安心。

Wednesday

定期検査の報告書を作成。免許人からの聞き取り内容を共有します。

Thursday

申請を許可し免許状を発給。工場で業務連絡するための無線局が誕生。



Friday

気象観測するレーダーの変更内容を審査。過去の経緯も調べます。

『目に見えない存在の交通整理』

目覚まし時計で起床し、テレビで天気予報を見ながら支度して、携帯を持って出勤。電波を受信して自動で時刻を合わせる電波時計、テレビも携帯も電波を使って映像や音声等を届け、天気予報も気象を観測するレーダーという電波を使っています。朝の時間だけ見ても、私たちの生活はこれだけ電波という目に見えない存在に支えられています。

電波は、みんなが自由に使うと、お互いに干渉して、みんなが使えなくなるといった性質を持っています。そのため、電波法という法律で電波を使うための仕組みを定めて、電波の世界の交通整理を行っています。私が所属している陸上課では、電波法に基づいて、携帯や消防、警察、電車、バス、高速道路など、陸上で電波を使う場合の許認可業務を行っています。電波を使いたい人の申請書を審査し免許状という形で許可することにより、目に見えない電波の世界の交通整理を行い、テレビや携帯などが当然に使える状態を維持しています。

『レベル1からの育成』

私は、高校では物理を選択せず、大学入試では数学を使わず、法学部を卒業しました。採用時の私の通信分野に関する知識は甚だしく不足していました。

そんな私が入省して実感したことは、職員は育成されているということです。最初はレベル1が当たり前で、いきなり強敵とは渡り合えません。今でも仕事内容で難しい部分はありますが、周囲の方に教えていただいたり、難易度に応じて案件を任せられたりして経験値を積んでいく中で、自分が職員として育てられていると感じています。

興味を持つことができれば、知識や経験は後からついてきます。通信は、遠く離れた場所を瞬時に繋ぐという意味で、時間と距離を超越する技術であり、多くの分野に親和性があります。教育でも医療でも農業でもICTで新たな挑戦が行われており、未来の生活は通信無くしては成り立ちません。少しでも興味を持ち、成長したいという気持ちがあれば、職員としての資質は十分です。ぜひ一緒に働きましょう!



Private Time

学生時代には体育の授業でしか経験しなかったテニスを、就職してから職場の方に誘われて始めました。テニススクールに通ったり職場の方に教えていただいたりしながら、週末に練習しています。時には、遠出してテニスをすることもあります。写真は、能登でテニスをするために、関東、北陸、近畿、中国の各地から集まったときのものです。

One Day Schedule



行政上の課題とは

国民視点の行政の実現。この言葉に心が惹かれ、私は行政評価局のある総務省に入省しました。入省後はアスベストに関する行政の調査などを担当しましたが、「国民視点」の言葉どおり、現場の実態を重視するところに当局の特色があると感じます。現場の実態から行政上の課題や改善方を考えることは簡単ではありませんが、やりがいのある仕事です。私たちの仕事に少しでも興味を持ってもらえたら、ぜひ、当局の門を叩いてみて下さい！

行政評価局評価監視官(農林水産、環境、防衛担当)室
菅谷 隆司 平成25年10月 総務省採用
行政評価局総務課地方業務室
平成27年 1月 現職

9:30

『情報収集』

行政評価局は、国の行政機関の取組を中心に調査し、関係府省に必要な改善を促します。今朝は、現在担当している調査に関する情報を、専門誌等から収集します。



10:00

『調査結果の整理』

行政評価局の調査は、本省による関係府省に対する調査に加え、全国の管区局・事務所による現地調査を実施しています。調査結果の整理の際には、詳細な内容を確認するため、管区局・事務所の調査担当者に連絡を取りながら作業を進めます。



12:00

『公園でリフレッシュ』

友人や上司とのランチも魅力的ですが、たまには自然の中でリフレッシュ。歩いて5分程のところにある日比谷公園では、紅葉など、四季折々の素晴らしい木々の姿を楽しめます。



16:00

『打ち合わせ』

調査結果を基に、上司や同僚と議論しながら行政上の課題やその改善方策案のとりまとめ。若手職員も調査事項の一部を担当するため、重要な役割を担います。



19:00

『ワークライフバランス』

上司・先輩とともに美味しい料理やお酒を堪能。こうした自分の楽しみと仕事とのメリハリがつけられるように、日々のスケジュール管理には気を付けています。



One Day Schedule



地域の思いに寄り添う仕事

「地域の方々の思いに寄り添って仕事をしたい。」そんな思いで総務省に入省しました。職場では地域への熱い思いを持つ職員の方から刺激を受けることがとても多く、毎日が勉強です。日々の仕事はデスクワーク中心ではありますが、自分が係わる仕事の先に「地域を自分たちの手で元気にしたい」と考え、動かれている方々の存在を感じることができる仕事だと実感しています。これからの地域のあり方を考え、仕事にしていきたいと考えている方にとって、総務省はとても魅力的な職場なのではないでしょうか。

自治行政局地域自立応援課
池田 千華 平成28年 4月 総務省採用
政治資金適正化委員会事務局
10月 現職

9:00

『イベントの打ち合わせ』

総務省主催の移住交流イベントを担当しています。どうしたらイベントに多くの方が興味を持ち、来場していただけるか、係長とともにポスターデザインをはじめ広報戦略について議論します。



11:00

『都道府県からの問い合わせ』

都道府県の担当者から多くの問い合わせ電話やメールが寄せられます。スピード感を持って仕事をするためにも、日々過去の資料をよく読み込み、最新の情報をチェックする等アンテナを高く持つようになっています。



12:00

『ランチ』

お昼休みは気分転換の貴重な時間です。課内の方々や同期と一緒にランチに向かいます。省内外に食事処が豊富なため、美味しいご飯を食べて午後の仕事に向けて英気を養います。



16:00

『課長へのご説明』

自治体から提出があった事業関係書類の内容を、課長へご説明します。課長からご指摘をいただける貴重な機会であるため、入念に準備を行います。重要なポイントを簡潔にご説明することは難しいですが、課長からご了解をいただき、事業が前に進む充実感が得られます。



19:00

『お疲れ様でした!』

一日の仕事を終えて、課内の皆さんと飲み会に出かけます。課内には女性職員が多いので、良く美味しいご飯を求めて少し遠くまで足を運びます。自治体から派遣されている職員の方々と一緒に、派遣元のご当地料理を食しては、地域の話に花を咲かせます。



One Day Schedule



1年目はこんな感じ!

就活というのは、真剣に将来を考える皆さんにとって、一大イベントだと思います。わたしは就活中から、「ビジョン・パッション・コミュニケーション」の3シオンを大切にしています。試験勉強や面接練習等、この言葉を軸に真剣に就活をしていた頃を思いだして、今も3シオンを意識して業務に取り組んでいます。就活中の努力や想いは必ず何らかの形で就職後に生きてくるので、将来のために真剣に就活してください。応援しています!

情報流通行政局 衛星・地域放送課 地域放送推進室
岡崎 未佳 平成28年 4月 総務省採用
現職

9:00

『1日をはじめる準備』

業務開始の9時半に備え、少し早く登庁します。業務に必要な記事がないか新聞のチェックや、メールの確認をしてスムーズに仕事を始められる準備をします。



12:00

『ランチタイム@銀座』

今日は課室の女性先輩方とお昼を食べに銀座まで。この日はオーストラリア風カフェに行きました! 時には同期と食べたり、1人のんびりデスクで食べたり。この1時間は私にとって大好きな時間です。



15:00

『フォーラムに参加』

とあるフォーラムに参加するために内幸町へ。国会対応等で上司が行けなくなり、急遽私一人で行くことに。後に概要メモを作成して上司に提出・いつでも説明できるように、しっかり聞いてメモをとります。



17:30

『フォーラム終了後、帰庁』

概要メモを作成しつつ、メールをチェックします。他課と調整しながら進めていく業務もあるので、迷惑をかけることのないよう、丁寧に対応します。どの業務1つとっても、大切だと感じています。



19:00

『もう一頑張り!』

今日は明日の会議の資料組むと会場準備のために、先輩のお手伝いをします。これが終われば今日の業務も終了です! 家に帰ってゆっくり休んで、また明日のために英気を養います。お疲れ様でした!



国家公務員 という生き方

内閣官房内閣人事局(主査(任用担当))

北川 幸枝 KITAGAWA Sachie

平成18年10月 総務省採用
人事・恩給局総務課総括係
平成20年 1月 人事・恩給局総務課調整第一係
平成20年 4月 人事・恩給局労働係 兼 国際係
平成22年 4月 内閣府日本学術会議事務局参事官(国際業務担当)付
国際調査専門職付
平成24年 4月 人事・恩給局公務員高齢対策課企画第二係
平成25年10月 人事・恩給局公務員高齢対策課企画第二係長
平成26年 5月 内閣官房内閣人事局(高齢対策第二係長)
平成27年11月 育児休業
平成28年 4月 現職

Some One Week

Monday

今年度を実施した採用広報活動の成果を検証して班内の職員と来年度の方針を考えました。



Tuesday

熊本県に出張して、地方自治体や管区機関の担当者との意見交換を行いました。

Wednesday

高校・大学生を対象に九州大学で地域に必要な政策を考えるという体験型のイベントを開催しました。

Thursday

日本各地の高校に国家公務員として働く卒業生を派遣して開催した講演会の活動報告書を作成しました。

Friday

先日の出張に関する精算事務を行い、出張報告書を作成して班内に共有しました。

『国家公務員とは?』

皆さんは国家公務員の仕事と問われた時、どのような業務が頭に浮かびますか。多くの方はお堅いイメージがまず思い浮かぶのではないのでしょうか。私が所属している内閣人事局は、2014年5月に公務員制度に関わる総務省の部局等が移管されて設置された新しい組織です。

内閣人事局は国家公務員に関する諸施策を所管しており、その中で私は進路や就職、その先のキャリアを考えたい学生に向けて国家公務員という仕事の魅力を伝える業務を担当しています。高校生や大学生を対象としたビジネスコンテスト、女性の働き方・生き方を考えるイベント、国家公務員になりきって政策を考えるイベント等、様々な広報イベントを開催しています。

イベントに参加した学生から好意的な反応があると大変嬉しく、業務を通じて、様々な人に会えるのが魅力の一つだと思います。個人的には様々な人に国家公務員のPRをすることで、自分の仕事の魅力を再発見しています。

『私が働く軸』

私は社会に不可欠なものを支える、土台になるような仕事がしたいという思いを軸に、国家公務員を目指しました。総務省は、行政全体が丸となってより良い方向に進むための舵取り役を担っています。過去の制度を見直し、時代に合った新しい制度を構築する等、積極的に挑戦しているのが特徴だと思います。入省以来、主に国家公務員の人事に関わる業務を担当していましたが、特に2008年から国家公務員の給与や勤務時間といった勤務条件を決定する仕組みの再検討に携わったことが思い出深いです。現在の公務の在り方は、今まさに過渡期とも言える時期かもしれません。正解のない課題に取り組むことにやりがいと楽しさを覚えました。毎日のように行った局内幹部との方針協議では、当時は係員であった私にも説明する機会を与えてもらい、主体的に業務に取り組むことができました。常に勉強が不可欠ですが、係員であろうと積極的に仕事ができる職場だと思います。



Private Time

1歳の息子は歩くことが上手になったので、大好きな電車がよく見える公園に遊びに行きます。一緒にすべり台を滑るとケラケラ笑って、とても楽しそうです。いつも10回は滑るでしょうか。また、大河ドラマが好きで、毎年GWに大河ドラマ緑の地へ旅行して、大河ドラマ館へ立ち寄り、ドラマの歴史観を深めています。

内閣総務官室と いうところ

内閣官房内閣総務官室 命 内閣第3担当主査兼官報担当主査
併任 内閣府大臣官房総務課官報係長

永岡 大介 NAGAOKA Daisuke

平成19年 4月 総務省採用
関東管区行政評価局
平成20年 4月 東京行政評価事務所行政相談課
平成21年 7月 東京行政評価事務所総務課
平成22年 7月 東京行政評価事務所評価監視調査官
平成23年 4月 行政評価局評価監視官付
平成26年 4月 消防庁国民保護・防災部防災課防災企画係長
平成28年 4月 現職

Some One Week

Monday

A省から、至急、官報に掲載したい案件の相談があったため、上司と相談の上、官報を印刷している国立印刷局と調整します。

Tuesday

定例閣議の日。朝早く開催されるため普段より早く出勤し、閣議に備えます。

Wednesday

金曜日の閣議の資料提出期限。B省から持ち込まれた資料に不備がないか確認します。

Thursday

国立印刷局との打合せ。現状や今後の課題等について幅広く意見交換します。

Friday

火曜日の閣議で公布決定された法令が今日の官報に掲載されていることを確認の上、閣議書に公布日を記します。



『緊張感を持ちながら』

私は、現在、内閣官房内閣総務官室に出向中です。官庁訪問をされている皆さんにとっても耳慣れない組織かもしれませんが、内閣総務官室は内閣の庶務を担う「緑の下の力持ち」ともいえる組織であり、私は、週に2回開催される閣議に関する事務を担当する部署に配属されています。

閣議は、全閣僚出席の下、法律、政令の公布や国政に関する重要事項が決定する行政府における最高の意思決定の場です。毎回の閣議が滞りなく行われるよう、資料の確認など諸々の準備を行っています。

また、私は官報に関する事務も併任しており、具体的には閣議で公布決定された法律や政令などを官報に掲載する事務を行っています(わが国では、官報に掲載することをもって、公布とするのが慣例となっています)。

いずれの業務も、ミスの許されないものですので、日々、緊張感を持ちつつ業務に取り組んでいます。

『いろんな仕事があります』

私は、20代後半の頃に、行政評価に興味を持って、民間企業から転身して総務省に入省したのですが、その後配属された総務省の外局である消防庁では災害対応に携わったり、内閣総務官室では内閣改造の現場に立ち会ったりと、入省当時には想像もしていなかった業務を経験することができました。これほど多様な業務に携われることは、民間企業ではあまりないのではないかと思います。

仕事の内容は様々ですが、それぞれの職場での上司や同僚と過ごした経験は、次の仕事に活かしていくことができます。今後また、私が行政評価を担当することがあれば、これまでの経験を活かして、新たな視点でチェックできればと思っています。

総務省は、多種多様な業務が用意された職場ですので、きっと皆さんの好奇心を満たしてくれると思います。



Private Time

平日は、あまり子供たちと一緒にいることができないので、それを取り返すべく、週末はきっちり休んで家族との団らんです。まだまだ小さい子供たちですが、日々の成長には驚かされます。子供たちと一緒にいることで、私自身、月曜日から始まる仕事へのエネルギー補給にもなります!

だからこれから 地方が面白い！



各務原市副市長
小鍋 泰弘 ONABE Yasuhiro

平成 9年 4月 自治省採用
行政局市町村課行政体制整備室
平成11年 4月 京都府総務部地方課
平成13年 1月 総務省自治行政局地域振興課
平成15年 1月 大臣官房秘書課秘書第四係長
平成16年 1月 自治財政局財政課制度係長
平成18年 4月 自治財政局地方債課資金係長
平成19年 4月 各務原市都市戦略企画推進部企画財政総室財政課長
平成21年 4月 自治財政局地方債課企画係長
平成24年 4月 消防予防課主幹
併任 総務課消防技術政策室主幹
併任 予防課危険物保安室主幹
併任 予防課特殊災害室主幹
命 予防課行政係長事務取扱
平成26年 4月 自治財政局地方債課主幹
平成27年 4月 現職

Some One Week

Monday

新年の宮中歌会始に全国最高齢で入選した市民の方に、市民栄誉賞授与式を挙行。

Tuesday

中学校の卒業式に出席。市長祝辞を代読。卒業生の目の輝きに感動！

Wednesday

本日から3月議会が開会。毎回緊張します。しっかり丁寧に答弁します。



Thursday

自治会の会合に参加。地域を誇らしげに語る皆さん。これぞ地域力の原点！

Friday

市内にある主要航空機関連企業の新工場の竣工式で挨拶。本市産業を牽引します。

『この10年が勝負！』

「この10年が勝負！」。最近の市職員皆さんの合言葉です。

日本は未経験の人口減少時代に入りました。本市も他なりません。かつての新興住宅街が加速的に空き家街になるのをどう食い止めるか。買物対策を始め、高齢者の足の確保のため公共交通の仕組みをどう変革するか。子供達が急減する中、地域の核となる学校をどう再編・利活用するか。柔軟な介護サービス体系の構築に何が必要か。

これら複雑で新しい諸課題は、団塊世代の方々が75歳を超える2025年以降、一挙に顕在化します。そしてそれはまず地方から発生します。それまでの10年間にしっかり仕組みを作り対処したい。この10年が、我々地方の腕の見せ所なのです。

「失敗してからが本当のスタート」。「時代に即応した新しい解決法が必ずある」。

「それはできません」となかなか言わない市職員。私は、彼ら気概ある市職員を誇らしく思い、そして勇気もらい、毎日挑戦の日々を送っています。

『新しい課題に地方から挑む』

私は平成9年に自治省に入省し、京都府、そしてこの各務原市には2回赴任しました。総務省の醍醐味は、何と言っても国・都道府県・市町村の全てに勤務の機会を与えてくれることです。それぞれの地域で、様々な事象を経験し、多様な人々と対話し、地域文化に触れ、笑ったり喜んだり時には悩んだり。総務省職員はこの地方の「体温」を知っています。国の制度設計にはこの「体温」が必要なのです。これが総務省職員の出来る業なのです。

これからは人口減少という新しい諸課題に立ち向かいます。都市計画や住宅政策、公共交通体系など、人口増加時代に制度設計された様々な仕組みの歪を、今こそ再構築すべきなのです。必要なことは、地方の「体温」を感じながら、過去から学び、そして過去にとらわれずに、今を大胆に発想すること。そして皆さんの若いアイデア。

新しい課題に地方から挑む。これから地方は面白い。是非、総務省でこの話の続きをさせてください。



Private Time

休日は、専ら子供と一緒にサッカースポーツ少年団。子供達の笑顔に平日の疲れも忘れます。合間を見つけては、好きな読書を猫と一緒にごろごろと。至福の時間。本市は空き家D・I・Y型賃貸契約を推進しており、最近のリノベーションにも興味。市民の皆様と一緒に汗を流しています。今年は市民農園での野菜作りにも挑戦！

国と地方を 経験できるということ



伊万里市政策経営部長
佐藤 弘康 SATO Hiroyasu

平成17年 4月 総務省採用
自治財政局財務調査課
平成18年10月 宮崎県地域生活部市町村課
平成20年10月 自治財政局公営企業課地域企業経営企画室
平成22年10月 自治財政局財政課
平成23年 4月 自治財政局財政課企画係長
併任 復興特別交付税室室員
平成25年 4月 大臣官房秘書課主査
平成27年 4月 自治財政局選挙部管理課国民投票係長
併任 選挙部管理課在外選挙係長
平成28年 8月 現職

Some One Week

Monday

補正予算や次年度職員定数などそれぞれ担当課と協議。

Tuesday

民間事業者との伊万里牛×伊万里焼のコラボ商品企画会議。

Wednesday

公民館建替えについて地元代表者と協議、伊万里港50周年記念事業の協議。

Thursday

次年度の政策方針を決定する経営戦略会議、補正予算などの市長協議。



Friday

国際戦略の策定協議、伊万里・有田消防組合の会議。

『市政運営の責任者』

市役所の部長というポストは、市長・副市長を最高経営責任者とした場合、取締役にあたります。市の重要な政策決定の会議にはほぼ全てに参加しますし、担当業務においては政策の最終判断、議会や住民への説明は市を代表して行います。

担当業務は、地方創生関連事業などの企画立案、予算編成、まちづくり事業や交通政策、国際戦略など広範囲です。

地方創生人材支援制度により派遣されていることから、成果も求められており、人口減少社会における地域の生き残りをかけ、職員や住民の方々とともに、時には都市部での伊万里市PR活動(伊万里牛の焼肉実践販売も!)など日々伊万里市のために戦っています。

一方で、限られた予算の中、行政の仕事全ての人に理解してもらうのは困難であり、議会や住民の批判の矢面に立たなければいけないのもこのポストの現実で、どう説明すれば、一人でも多くの人に理解してもらえるかが常につきまとう課題です。

『国と地方の両立場から』

職業を選択するというは容易なことではなく、多くの皆さんは、これまでに経験したことのない人生最大の決断にせまられていることと思います。

私も、地方公務員として働くことにも魅力を感じており、本当に悩みました。そんな中、官庁訪問等を通じ、様々な人達と出会い、霞ヶ関においても地方のために働く職場があることや地方公務員の経験もできることを知り、それが総務省でした。

国と地方の両立場を経験できる総務省は、結果として霞ヶ関の中でもバランスのとれたもの見方ができる人材が多く、さらに地方での幹部経験により、組織マネジメント力の高い人材も多いため、良好な組織風土づくりができていていると思います。

おそらく職業選択の最終的な決め手になるのは、そこで働く人たちがどういった人たちか、自分にあった職場の空気感か、というところになってくるとは思います。

ぜひ一度は総務省にお越しいただき、その辺りをご確認いただければと思います。



Private Time

市や地域のイベントに家族で参加、伊万里牛や海産物の食べ歩き、竈元巡りや九州の名所観光(前赴任地の宮崎にも足を運びます!)など伊万里・九州ライフを存分に楽しませていただいております。体験したことは積極的にSNSで情報発信するなど、少しでも伊万里のPRになるよう努めています。



地方自治の現場から!

秋田県企画振興部市町村課

伊藤 大智 ITO Daichi

平成25年 4月 総務省採用
大臣官房秘書課
平成26年 4月 自治財政局交付税課
平成27年 4月 現職

『地方交付税17兆円の意義を現場から』

私は現在、秋田県職員として、県内市町村の地方交付税に関する業務を担当しています。日本では、どんな市町村に住んでいても一定水準の行政サービスを受けることができます。ある市ではお金が足りないので消防業務はやっていません、なんてことはありませんね?

市町村によって地方税収が多いところもあれば少ないところもあるのに、なぜ同じような行政サービスを提供することができるのでしょうか。それは、財源保障と財源調整という機能をそなえた地方交付税制度が日本にはあるからです。その総額は17兆円程度にもなります。

秋田県内には、豪雪、半島、過疎、人口減少、少子高齢化といった行政サービスをする上での条件が厳しい市町村があります。秋田という現場にいて、市町村のひっ迫した状況を肌で感じ、地方交付税という制度を通じて財政の面から支える仕事の意義を日々感じています。

『地方を想う熱い職場』

私が総務省を志望したのは、先に述べた地方行政という業務内容だけでなく、地方を想う熱い職員がいる職場の雰囲気にも魅力を感じたからです。

少子高齢化や地域経済低迷といった様々な課題があれば、それがいち早くそして具体的に現れる現場は、地方自治体です。総務省は、そんな地方を想い、どうしたら地方にとって最善なのかを考え、日々議論を交わし、国の政策に反映させるために奮闘する職員たちであふれています。同僚と飲みに行けば、生まれ育った故郷の自慢話で盛り上がるのももちろんのこと、それぞれの勤務経験のある地域の魅力を話し始めたら止まりません。

ぜひ、説明会に参加して、この熱い職員に会ってみてください!

そして、ぜひ、この地方を想う熱い職場で、一緒に働いてみませんか!



Private Time

同僚の地元を巡ったり、秋田でしか手に入らない地酒を楽しんだり、秋田ノーザンハピネッツの試合観戦をしたり、と満喫する魅力がたくさんです。秋田竿灯まつりでは、県庁竿燈会の「差し手」として参加しました。休日の先輩方との練習を経て、まつり本番で竿燈妙技を披露!



地方を思い国を思う

大分県総務部市町村振興課

田川 陽子 TAGAWA Yoko

平成26年 4月 総務省採用
大臣官房秘書課
平成27年 4月 自治行政局公務員部福利課
平成28年 4月 現職

Some One Week

Monday

普通交付税の算定状況について、上司と一緒に知事にご説明。貴重な経験です!

Tuesday

普通交付税の額が決定したので、市町村へ通知を发出し、報道機関にも資料を提供。

Wednesday

普通交付税の業務がひと段落したので、特別交付税の業務の準備にとりかかる。



Thursday

市町村に訪問して実施する交付税検査の方法について班内で打ち合わせ。

Friday

週末なので定時後、同僚と飲みに行くことに!リフレッシュも大切です!

『市町村と国の架け橋に』

現在私が所属する市町村振興課では、おもに県内市町村の行財政政を所管しています。中でも、私の主な担当業務は普通交付税の算定です。普通交付税は一定の基準により、どのくらいその自治体は財源が足りないのかを算定し、国から各自治体に交付される地方の貴重な財源です。交付税業務は総務省が所管する業務であるため、県内市町村と総務省の間の立場となり、総務省の業務に県庁職員として携わっています。

現場となる市町村がより円滑に行政を行うことが出来るよう、様々な場面でのつなぎ目となるのが役目である当課には、「県と市町村はパディ」との言葉があります。県は市町村と一体となり、真剣に市町村のことを思って仕事をしています。地方の現場に入ることですごく働く方々の気持ちを知ることが出来ました。地方自治の現場は地方であること、そこで働く人たちの思いを胸に、地方自治を所管する総務省での仕事にも励みたいと思っています。

『地方も国も味わいたい!』

入省から2年で地方出向を経験できる、これは私が総務省に入ろうと思った大きな魅力の一つでした。総務省に入ってから2年間でみた先輩方は、自分の出身地はもちろん、出向した地域が第2第3のふるさととなり、その土地の方々への思いを胸に業務にあたる姿がとても素敵でした。

また、省には全国の自治体からたくさんの職員の方々が出向されてきています。本省での出会いを通じて、会いに行きたい人が全国に出来、その人を通じてまた一つ知らなかった地方の魅力を発見できます。このように、たくさんの方々との出会いが多いことも総務省の魅力だと働いてみて気づくことが出来ました。

もちろん楽しい日々ばかりではありませんが、必ず誰かが助けてくれる、そんな職場環境も総務省にはあります。興味も不安も全部抱えて、まずは直接私たちの話を聞きに来ませんか?きっと面白い話をしてくれる職員が総務省で待っていますよ。

Some One Week

Monday

総務省からの照会を受けて、普通交付税の算定に必要な数値を市町村へ照会。

Tuesday

まもなく行われる市町村向けの交付税算定事務説明会の資料作りをします。

Wednesday

照会に関する市からの問い合わせに対応。定時退庁日のため早く帰ります。

Thursday

市町村から返ってきた照会への回答を資料とチェックします。



Friday

チェックした回答を総務省へ回答。せっかくの金曜日、大分グルメを求めます!



Private Time

「日本一のおせん県おおいた」はたくさんの温泉はもちろんのこと、自然も非常に豊かです。休日は、県内にある18市町村を巡りながら様々な季節のイベントに出向いたり、時にはアウトドアも。また、隣県にいる総務省の同期と出向県自慢を兼ねてそれぞれの県を訪ね、他県の魅力を発見することも休日の楽しみの一つです。



アルプスの国から こんにちは

外務省在スイス日本国大使館一等書記官

田代 広宣 TASHIRO Hironobu

- 平成 8年 4月 郵政省採用
大臣官房人事部人事課能力開発室
- 平成 8年 7月 貯金局経営計画課
- 平成 9年 7月 貯金局経営計画課経営管理室
- 平成13年 1月 郵政企画管理局貯金経営計画課経営管理室
- 平成14年 8月 情報通信政策局総務課
- 平成15年 8月 情報通信政策局総合政策課政策係長
- 平成16年 7月 情報通信政策局総合政策課情報通信経済室統計企画係長
- 平成18年 5月 外務省在パキスタン日本国大使館二等書記官
- 平成21年 6月 情報通信国際戦略局情報通信政策課主査
- 平成24年 8月 大臣官房会計課予算第三係長
- 平成25年 4月 大臣官房会計課課長補佐
- 平成27年 6月 現職

Some One Week

Monday

UPU事務局と条約改正手続や次回定期理事会に向けた意見交換

Tuesday

スイス国内の経済・金融に関する出来事やスイス政府の報道発表等につき大使に報告

Wednesday

連邦経済省日本担当幹部と昼食を交えつつ欧州及び東アジアの経済情勢等を議論

Thursday

チューリッヒ日本商工会議所に理事として出席。来年度の活動方針を審議。



Friday

スイス国立銀行を訪問。その後、大使館とスイス経済団体が共催する金融・経済セミナーの司会。

『スイスから見る国際機関と国際経済情勢』

スイスには万国郵便連合(UPU)という1874年に設立された老舗の国際機関があり、国際郵便について各国の事業者が円滑に取り扱えるよう、その料金や様々なルールを加盟国間で調整する役割を担っています。私は同機関で春と秋に開催される定期理事会や4年に1度加盟国の持ち回りで開催される大会議に、総務省の職員とともに日本政府の代表として参加しています。

その他の大使館業務としては、欧州金融経済担当大使の肩書きを併せ持つ駐スイス大使とともに、連邦財務省やスイス国立銀行のほか、欧州中央銀行、英中央銀行及び機関投資家、金融専門家等との意見交換を通じて、欧州の金融経済に関する情報収集や我が国の金融経済政策「アベノミクス」の正確な情報発信に努めています。2つの異なる分野の業務ですが、地理的にもヨーロッパの中央に位置し、政治的にも永世中立国という独特な国スイスならではの、やり甲斐のある仕事です。

『広がる視点と活躍のフィールド』

各省の混成組である大使館勤務を通じて思うのは、各省ごとにカラーは随分違うとの印象です。その意味で、総務省はICTという最先端の事象を扱うためか、民間企業のスピードや新鮮な発想を肌で感じることもできる割と今風の役所です。早く帰れる日は、(特に独身の皆さんは)省庁外の人と交流できる楽しい飲み会などに積極的に参加されることをお勧めします。私は現在2回目の在外勤務ですが、欧米や東南アジアを中心に国際機関や大使館等、希望すれば海外で働くチャンスが多いのも総務省の特長です。昨年、イスタンブールで開催されたUPU大会議では、我が国提案への支持拡大のため100ヶ国以上の代表団に根回しを行ったのは良い思い出です。また国内では6年間、予算編成に携わり、事業仕分けや財務省との折衝を通じて自らの組織の論理に縛られず、より多角的な視点で国益を考える習慣を培うことが出来ました。



Private Time

天気の良い日は、家から30分ほどの丘の上のカフェドライブ。向かいのアルプス山脈と眼下に煌めく湖を眺望できるテラス席で、気ままに読書を楽しみます。月に1~2回は、ダボスなどスイス国内の小さな町を探索するのも楽しいです。赴任してからこれまでに30近くの町を訪れました。あとは家でTVゲーム。



太陽の国メキシコにて 思うこと

日墨留学

酒井 孝祐 SAKAI Kousuke

- 平成21年11月 総務省採用
情報流通行政局地上放送課
- 平成23年 9月 大臣官房総務課
- 平成25年 7月 総合通信基盤局総務課
- 平成27年 4月 総合通信基盤局電波部基幹通信課
- 平成28年 7月 現職

Some One Week

Monday

スペイン語の授業で晩婚化について議論。多様な価値観があり面白い。

Tuesday

メキシコの地理の授業で大学周辺を散策。壁画の意味など実に興味深い。

Wednesday

授業後、友人と屋台でタコスを食べながらお互いの授業について情報交換。



Thursday

メキシコ伝統舞踊の発表会。週3日で練習してきた集大成、いざダンス!

Friday

授業後、来週からの学期末試験に備え、友人と図書館で勉強。

『現在、メキシコにて勉強中』

私は今、日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画の研修生として、メキシコ国立自治大学に留学し、スペイン語等の習得に励んでいます。各国から集まった年齢、職業等の異なるクラスメイトと議論することは刺激的であり、国際的な幅広い視野を養う良い契機となっています。

また、ここメキシコにおいても、人々はSNSで交流し携帯のアプリでタクシーを呼ぶなど情報通信技術(ICT)は国民生活に欠かせないものとなっています。私自身、日本から遠く離れていながら、日本の家族や友人と気軽に連絡を取り合っている現状から、ICTの発展が私たちの暮らしを支えていることを実感しています。

このような人々の暮らしをより便利に豊かにするICT分野を所管しているのが総務省です。ICTの拡がりとともに、今や活躍の場は世界へ広がっています。私もまた、この研修を通じて習得したスペイン語を今後の業務に活かしていきたいと思っています。

『やりがい×成長の機会=総務省』

「暮らしの中に総務省」というキャッチフレーズのとおり、総務省は人々の暮らしに直結する実に幅広い業務を所管しています。入省後、主に情報通信行政に携わってきましたが、特に印象に残っているのは地上テレビ放送のデジタル化です。誰にとっても身近であり、災害時には重要な情報入手手段となるテレビ放送の変革に携わる責任を強く感じながら、国民の協力の下、様々な業界と連携し、職員が一丸となってデジタル化を実現した際には大きな達成感を味わえました。

これはほんの一例ですが、このように国家公務員として働く上で不可欠とも思える、「現在及び将来の人々のために働くやりがい」を強く感じられる多彩な業務に溢れている、それが総務省の魅力だと感じています。また、多彩な業務がある分だけ成長の機会も多いといえます。就職という岐路に立つ皆さんが次に輝く舞台として、大きなやりがいと成長の機会に溢れた総務省を選んでいただければ幸いです。



Private Time

授業の予習・復習の他、土曜日はメキシコ人の友人連と食事に出かけるなどして過ごし、日曜日には所属しているサッカーチームでリーグ戦に出場し汗を流しています。また、長期休暇の際には国内の遺跡をよく訪れています。ピラミッドの頂上からの景色を眺めながら古代の人々の生活に想いを馳せると、悩みなども吹き飛びます。

Work Life Balance



西田 亜衣
平成18年入省
育児休業(H25.6~H26.4)
育児時間(現在)

育児休業取得前後で働き方どのような変化がありますか？

限られた時間をいかに有効に使うかを意識するようになったことで、照会への早急な対応、悩んだときの早めの相談等、行動力とスピード感がアップするとともに、前倒しで仕事をするようになりました。



松谷 英剛
平成20年入省
育児休業(H27.10~H28.3)

仕事と生活の両立のコツはありますか？

自分の努力だけで実現することは難しい面があり、私の場合は職場の理解や助けによって仕事も家庭も楽しく頑張れています。頑張る仕事の内容を選ぶことは大切ですが、仕事が頑張れる環境を選ぶことも大切だと思います。



今道 綾子
平成16年入省
育児休業(H24.7~H25.3)

仕事と生活の両立のコツはありますか？

無理をしない、自分を追い込まないことを心掛けています。仕事も生活も限られた時間で完璧にはできませんし、ワーキングママが「頑張って」「頑張って」やっている、同僚や家族が窮屈になってしまいます。頑張るより肩の力を抜いて楽しむのがコツではないでしょうか。



関口 美波
平成21年入省
育児休業(H27.12~H28.9)
育児時間(現在)

育児休業を取得する際、困ったことはありましたか？

育休取得時は、書類や手続きが意外と多くて戸惑いました。また、復職後の働き方についても不安でしたが、先輩職員に相談しアドバイスをもらい、無事に育休を取得し復職することができました。女性職員間での交流は、これからも大切にしていきたいです！



黒木 香織
平成18年入省
育児休業(H22.11~H27.4)
育児時間(現在)

職場復帰に際し、不安なことはありましたか？

育休中は仕事から離れ育児にどっぷり浸かっていたので、復職後、仕事の勘を取り戻せるか不安でした。いざ動き始めると、子育てで得た経験等が日々の業務に活かせることも多くまた上司や同僚の助けもあり、不安はすぐに解消しました。

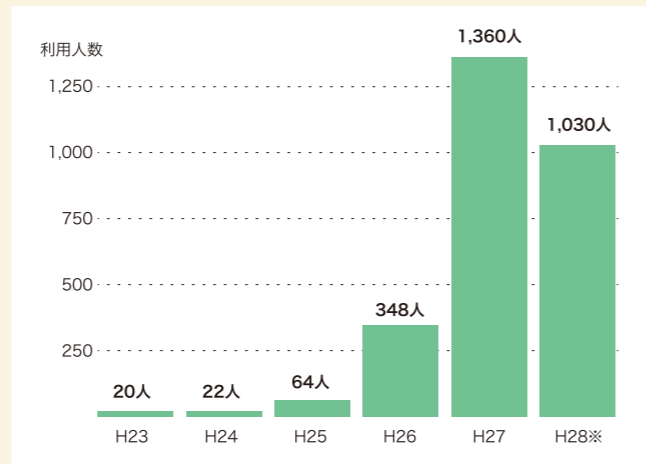


原田 光磁
平成19年入省
育児休業(現在)

今、どのような一日を過ごしていますか？

夫婦の一方が娘の相手をしている間に、もう一方が家事をこなしています。その後は外出していますが、あちこち動き回り、何でも口に入れる赤ちゃんがいると、準備だけでも結構大変。それでも、どこへ行っても喜ぶ娘を見ると、連れてきてよかったと思います。

テレワーク利用実績 (年度別)



※平成28年7月15日までの数値

男女別の育児休業取得率等 (平成27年度)

	育児休業取得率 ※1	配偶者出産休暇 ※2
女性職員	100%	
男性職員	9.2%	66.3%

※1 平成27年度中に新たに育児休業が可能となった職員数に対する同年度中に新たに育児休業をした職員数の割合

※2 平成27年度に子が生まれた男性職員のうち、配偶者出産休暇を1日以上使用した男性職員の割合

Question & Answer

Q 最近の採用実績は？

A 平成28年度一般職試験合格者からの採用者数は本省が56人、地方支分部局が80人となっています。本省採用者は本省内の各部局や東京都内の各機関に配属されます。地方支分部局採用者は、採用された地方支分部局に配属されます。過去3年間の一般職(大卒程度)試験合格者の採用者状況は以下のとおりです。

	本省採用者	地方支分部局採用者		女性の割合
		管区行政評価局 行政評価事務所	総合通信局 総合通信事務所	
26年度試験合格者	52(18)	40(17)	18(8)	39.1%
27年度試験合格者	49(17)	45(19)	34(15)	39.8%
28年度試験合格者	56(23)	46(20)	34(14)	41.9%

★人数は各年度の国家公務員一般職(大卒程度)採用者数

★カッコ内は女性の内数

※各年度試験には10月等に採用された人も含まれます。

Q 採用はどのように決定するのですか？

A 採用担当者とあなたとの面談を積み重ねて、あなたの長所・やる気・可能性などを総合的に判断して決定します。面談による人物本位の選考を行いますので、積極的に訪問していただき、あなたの魅力をアピールしてください。

Q 最初に配属されると、ずっとその部署で勤務するのですか？

A 配属された部署によって異なりますが、多くの人は2~3年に一度、別の部署へ異動することとなります。本人の希望・適性に依りて異動し、採用地以外の勤務地へ転勤する場合があります。

Q 子育てに関し、どのような支援がありますか？

A 女性職員の産前・産後休暇の取得はもちろん、男性職員も含め、子供が3歳になるまで育児休業を取得することができます。また、働きながら育児をするための勤務時間制度も用意されています。他にも、国会業務や窓口業務などを除き、テレワーク(在宅勤務)も可能です。

Q 採用後の研修は？

A 採用時に新任者研修を行うほか、業務に関連した研修や希望者を対象とした専門研修・昇進時の研修など様々な研修があります。

Q 採用後のキャリアアップについて教えてください。

A 一般職で採用となる職員は、入省後、内部部局の課・室において、係員・係長・課長補佐等として、本人の希望や適性に依りて、主に特定分野の業務(例えば行政管理、地方自治、情報通信行政、統計など)を中心に担当することになります。ただし、必ずしも特定分野の業務のみではなく、キャリア形成の過程で、大臣官房やそれ以外の業務を担当したり、本省と地方支分部局を行き来する場合があります。また、都道府県や市町村の幹部職員ポスト等への派遣、他府省等や海外の在外機関への出向、国内外の大学等への留学の機会もあります(2ページもご覧ください)。

Q 総務省の具体的な業務内容を聞きたいのですが、どうすればいいですか？

A 総務省では、平成28年度を例にとると、総務省独自の業務説明会(8月4日~8月10日)、人事院主催の合同説明会(全国各地での一般職各府省合同業務説明会、霞が関OPENゼミ)等を行いました。また、いくつかの大学においても業務説明会を行いました。平成29年度も、同様に説明会を開催いたしますので、総務省ホームページ内の採用情報にて開催日程をご確認ください。

Q 福利厚生等はどうなっていますか？

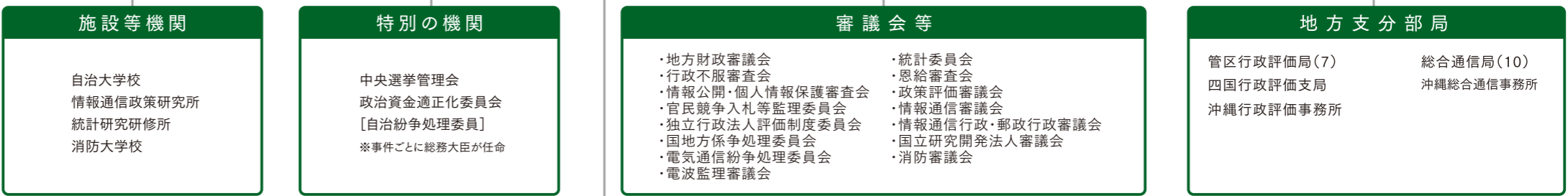
A 総務省に採用されると、総務省共済組合に加入することになり、医療給付等を受けられるほか、全国各地にある共済施設が利用できます。また、住宅資金の貸付制度もあります。

総務省の組織

総務大臣

総務副大臣(2) 総務大臣 政務官(3) 総務大臣補佐官

総務事務次官 総務審議官(3)



(注)組織図は政令以上で規定される主要組織のみを示している。(平成29年4月現在)

連絡先

総務本省 ※消防庁を含む

事務系	大臣官房 秘書課人事係	〒100-8926 千代田区霞が関2-1-2 中央合同庁舎第2号館7階 03-5253-5111(代) 03-5253-5073・5074・5075(直)
技術系	【情報通信分野】 総合通信基盤局 電波部電波政策課	〒100-8926 千代田区霞が関2-1-2 中央合同庁舎第2号館10階 03-5253-5873(直)
	【統計分野】 統計局 総務課人事係	〒162-8668 新宿区若松町19-1 総務省第2庁舎 03-5273-1118(直)

管区行政評価局

北海道管区行政評価局	総務課	〒060-0808 札幌市北区北8条西2-1-1 札幌第1合同庁舎	011-709-2311(代)
東北管区行政評価局	総務課	〒980-0014 仙台市青葉区本町3-2-23 仙台第2合同庁舎	022-262-7831(直)
関東管区行政評価局	総務部総務課	〒330-9717 さいたま市中央区新都心1-1 さいたま新都心合同庁舎1号館	048-600-2302(直)
中部管区行政評価局	総務課	〒460-0001 名古屋市中区三の丸2-5-1 名古屋合同庁舎第2号館	052-972-7411(直)
近畿管区行政評価局	総務部総務課	〒540-8533 大阪市中央区大手前4-1-67 大阪合同庁舎第2号館	06-6941-3431(直)
中国四国管区行政評価局	総務課	〒730-0012 広島市中区上八丁堀6-30 広島合同庁舎第4号館	082-228-6172(直)
四国行政評価支局	総務課	〒760-0068 高松市松島町1-17-33 高松第2地方合同庁舎	087-831-3101(直)
九州管区行政評価局	総務課	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-11-1 福岡合同庁舎	092-431-7081(直)
沖縄行政評価事務所	総務課	〒900-0006 那覇市おもろまち2-1-1 那覇第2地方合同庁舎	098-866-0145(直)

総合通信局

北海道総合通信局	総務部総務課	〒060-8795 札幌市北区北8条西2-1-1 札幌第1合同庁舎	011-709-2311(代) (内線)4607
東北総合通信局	総務部総務課	〒980-8795 仙台市青葉区本町3-2-23 仙台第2合同庁舎	022-221-0606(直)
関東総合通信局	総務部総務課	〒102-8795 千代田区九段南1-2-1 九段第3合同庁舎22階	03-6238-1625(直)
信越総合通信局	総務部総務課	〒380-8795 長野市旭町1108 長野第1合同庁舎	026-234-9964(直)
北陸総合通信局	総務部総務課	〒920-8795 金沢市広坂2-2-60 金沢広坂合同庁舎	076-233-4413(直)
東海総合通信局	総務部総務課	〒461-8795 名古屋市東区白壁1-15-1 名古屋合同庁舎第3号館	052-971-9106(直)
近畿総合通信局	総務部総務課	〒540-8795 大阪市中央区大手前1-5-44 大阪合同庁舎第1号館	06-6942-8507(直)
中国総合通信局	総務部総務課	〒730-8795 広島市中区東白島町19-36	082-222-3306(直)
四国総合通信局	総務部総務課	〒790-8795 松山市宮田町8-5	089-936-5012(直)
九州総合通信局	総務部総務課	〒860-8795 熊本市西区春日2-10-1 熊本地方合同庁舎	096-326-7809(直)
沖縄総合通信事務所	総務課	〒900-8795 那覇市旭町1-9 カフーナ旭橋B-1街区 5階	098-865-2300(直)